

門刺²
440
卷

本居豐
小中村清
林麿
穎
矩
著
臣
閱

卷壹貳

日本文法摘要

前帙

明治十五年
一月十八日
版權免許
產靈舍藏板

藏書

東京
學校

利
440
414

日本文法摘要

凡例

一 此編ハ音韻反切假名遣ヨリ語格テニラハ等
ノ用格ヲ詳ニス而テ其正鵠トスル處只學生
ドモガ今體假名交文ヲ綴ルニ方リ聯語辭句
ノ間其格法ヲ誤ラザラシムルニ有ルノ云故
ニ高尚ニ涉リ日用ニ遠キ者ノ如キハ捨テ、
論ゼズ

一 此編標據トスル處詞ハ衢詞玉緒及山口榮等
ヲ以テ基トシ尚參酌スルニヒロク諸家ノ確

日本文法摘要

凡例

明治十五年八月六日
高野

藏書

日本教育史
説ヲ擇ミ聊^カ已ガ卑見陋説ヲ加ヘ以テ日本文
法ノ教課書トナス今其首唱發明者ノ名ヲ一
々掲ゲザルモノハ煩ヲ厭ヘバナリ
一此書ノ成ルヤ予ガ斯科教授ニ從事スルノ末
積年ノ意匠ニ出ヅト雖^モ未^ダ敢テカナラズシ
モソノ方法ヨロシキヲ得タリトスルニ非^ス尚^ホ
發明スル處アラバ隨テ改良ヲ加ヘントス
一言詞性質ノ類別其稱謂等ノ如キ先輩ノ所説
或ハ漠トシテ未^ダ其適切ヲ得ザルアリ或ハ迂
濶ニシテ初學ノ者ノ耳ニ達シ難キアリテ教

員其生徒ニ對シ之ヲ明確ニ解クニ由ナキ者
尠^シトセズ故ニ古^キヲ襲用シガタキハ意ヲ加
ヘテ改良セリ蓋^シ已^レムヲ得ザルナリ
一此書前帙二冊ヲ以テ第一期ノ課程トシ後帙
二冊ヲ以テ第二期ノ課程トス然^レモ各地學校
其時間ノ數必シモ一定ナル能ハザレバ之ヲ
教フルノ粗密ト全篇中其課目ヲ取捨スル^ハ何^レ
ヨリ何^レ章マデヲ授ケ^ル等ノ如キハ教授スル者
何^レ章何^レ章ハ略スノ類^ニノ如キハ教授スル者
ノ意見ニ任ス
但^シ之ヲ教フルノ序次方法ノ如キハ本篇ノ

附録トシ別ニ語學教授法語格詳解圖式語格問答類題假字格問答類題等ノ著アリ能ク其ニ準據シテ講習ノ序次ヲ失ル勿レ一此編行文叙事務テ平易簡約ヲムネトセルヲ以テ先哲古學家ノ説ク處ト自其面目ヲ新ニスト雖凡爲ニ邦語格法ノ真ヲ失スルガ如キハ毫モアルナシ

明治十四年二月

林 甕臣 識

日本文法摘要

前帙目錄

音卷一

音韻論

五十音及假字ノ略説

五十音系位略圖説

父母音及子音ノ差別

五十音發象法略圖解

阿也和三行イウ工音ノ差別

濁音并ニ假字

次清音并二假字

急促音并二假字

撥鼻音并二假字

複音異片假字

長呼音

累疊音

缺舌母音

音韻相通

音便

音韻反切并二圖式

日本文

假字格并二記憶歌

卷二

言語論

言語ノ成立及類別

名言動詞靈辭ノ差別

名言ノ類別

動詞ノ類別

動詞轉用過現未ノ辨別

動詞用性自他ノ辨別

動詞用格ノ類別并二圖式



日本文法摘要卷一

本居 豊穎

小中村清矩

林 甕臣著



總論

日本文法ハ語格テニヲハ等ノ用例ヲ研究シ以テ作文詠歌讀書等ニ臨ミ語意文脈ノ起結斷續ノ誤謬ナカラシムルモノニシテ即文學ノ下科トス蓋文ヲ綴リ歌ヲ詠ミ書ヲ譯シ又書ヲ讀ムニ至ルマデ苟モ之ガ典則ヲ仰グニ非レバ何ヲ

以テカ、能ク其意ヲ盡シ、其義ヲ詳ニスルヲ得ベ
キ是、斯學ノ目下急務ナル所ナリ、故ニ學生必是
ヲ學ブベシ

此書分チテ四篇トナス、則「音韻論」「言語論」「文章論」
「歌詠論」是ナリ、

但「甲」ハ五十音發象ノ口舌機轉ヨリ假名遣及
音便反切等ノ一ヲ概論シ、「乙」ハ活語「テニヲハ」
等ノ格ヲ示シ、「丙」ハ文體ノ類別及作例ヲ辨ジ
「丁」ハ歌ノ調格及式例ヲ略説ス

第一篇 音韻論

第一章 五十音及假字ノ略説

「五十音」トハ國語ノ音數五十個ナルガ故ニ然謂
「假字」トハ邦語聲音ノ符標ニ漢字音ヲ假用スル
モノナレバ然謂フ故ニ其音數ニ應ジ「假字」ノ數
亦五十アリ
而テ「假字」ニ三體ノ別アリ「片假字」「平假字」「異平假
字」ト謂ヘル是ナリ
「片假字」トハ字ノ篇冠旁等ノ片々ヲトリテ略製
セルモノナルガ故ニ然謂フ即「アイウエオ」カキ

クケコ「サシスセソ」タチツテト「ナニヌネノ」ハヒ
フヘホ「マミムメモ」ヤイユエヨ「ラリルレロ」ワヰ
ウエヲト書ク字體ノ如シ

平假字トハ其字體平易ナルガ故ニ然謂フ即チ
いうえおかきくけこ「さしすせそ」たちつてと「な
にぬねのほひふへほまみむめも」やいゆえよ「ら
りるれろ」わゐをゑをト書クガ如シ

異平假字トハ其字體平易ナルモノカラ異ナル
ガ故ニ然謂フ即チ「何」以「字」江「お」り「た」く「を」お「そ」志「を」
勢「そ」と「お」は「字」也「お」る「勢」稱「れ」を「お」ぬ「魚」也「お」る「勢」

免を「屋」以「ゆ」江「と」屋「て」は「と」ぬ「日」を「字」也「哉」ナドヤ
ウニ書クガ如シ

第二章 五十音系位略圖説

五十音系位トハ五十音圖ノ五列十行ニ系統縦
横ノ定位ヲナセルヲ謂フ其縦ノ行ヲ縦行ト云
ヒ横ノ列ヲ横列ト稱ス乃左ノ圖ノ如シ

阿	横	阿
イ	横	伊
ウ	横	宇
エ	横	衣
オ	横	於
阿	縦	阿
イ	縦	イ
ウ	縦	ウ
エ	縦	エ
オ	縦	オ

五十音系位圖

第三章

父母音及子音ノ差別

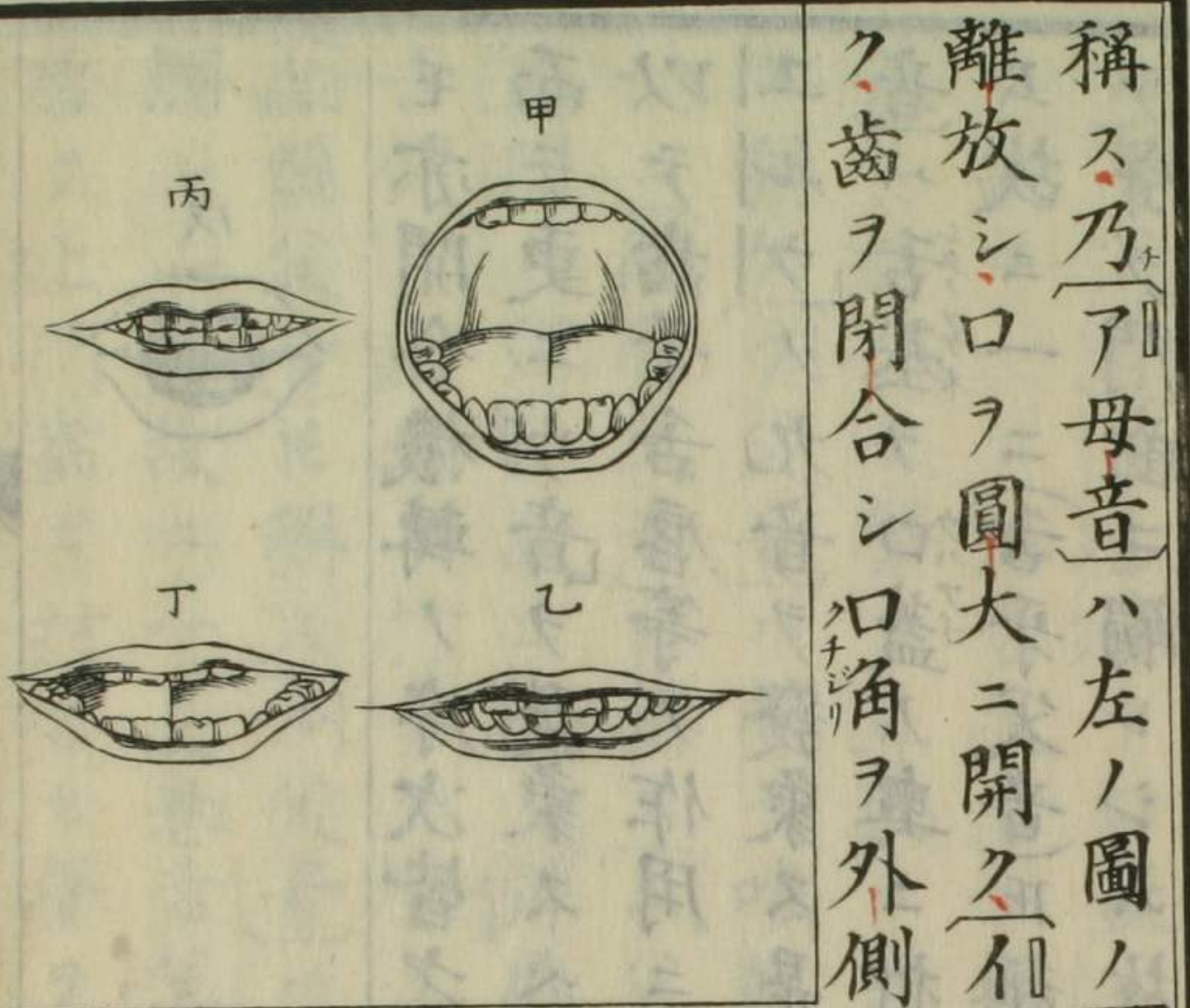
加	佐	太	奈	波	末	也	良	和
縦行	縦行	縦行	縦行	縦行	縦行	縦行	縦行	縦行
カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	イ	リ	キ
ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル	ウ
ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	エ	レ	エ
コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	ヲ

父音トハ子音ニ音質ヲ分與スベキ原音ナルガ故ニ然謂フ即ク「ス」「ツ」「シ」「フ」「ム」「ユ」「ル」「ウ」ノ九音是ナリ
 母音トハ子音ヲ分生スベキ原聲ナルガ故ニ然謂フ即チ「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」ノ五音是ナリ
 子音トハ父母兩音相偶スルニヨリ分生セラレタル音ナルガ故ニ然謂フ父音ノ數ニ應ジ九系アリ即チ「カ」「キ」「ケ」「コ」「サ」「シ」「セ」「ソ」「タ」「チ」「テ」「ト」「ナ」「ニ」「ネ」「ノ」「ハ」「ヘ」「ホ」「マ」「ミ」「メ」「モ」「ヤ」「イ」「エ」「ヨ」「ラ」「リ」「レ」「ロ」「ワ」「ヰ」「エ」「ヲ」ノ三十六音是ナリ

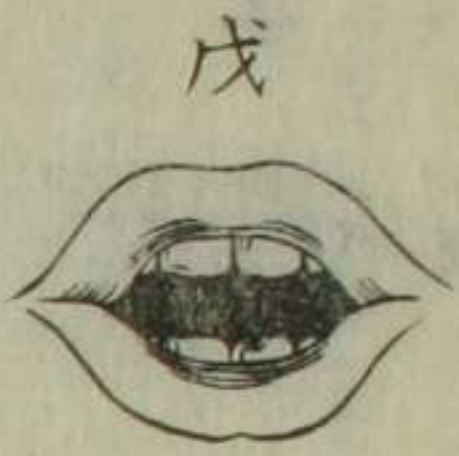
但カキケコハクアクイクエクオサシセソハ
スアスイスエスオノ如ク父母兩音相偶シ反
切シタル音ナリ自餘ミナ之ニ準ズ

第四章 五十音發象法略圖解

〔五十音發象法〕ハ其順序母音ヲ以テ始トシ父音
之ニ次ギ子音ソレニ因テ以テ象ヲナスナリ
先其本原ノ聲素ヲ喉頭聲門ニ發シ口外ニ始テ
其象ヲ形スヤ即ウ音是ナリ
而テ口腔開合ノ機轉ニヨリテア_一イ_二エ_三オ_四ノ四音
ヲ發象ス統合セテア_一イ_二ウ_三エ_四オ_五ノ五音ヲ母音ト



稱ス乃ア母音ハ左ノ圖ノ甲ニ示スガ如ク齒ヲ
離放シ口ヲ圓大ニ開クイ母音ハ乙ニ示スガ如
ク齒ヲ閉合シ口角ヲ外側ニ挈クウ母音ハ丙ニ
示スガ如ク齒ヲ閉合
シ口ノ形狀自然固有
ノ儘ヲ以テスエ母音
ハ丁ニ示スガ如ク齒
ヲ微シ離放シ口角ヲ
外側ニ挈クオ母音ハ
戊ニ示スガ如ク齒ヲ



微シ離放シ口吻ヲ狭
窄ス
右阿行以下九行各音

モ亦開合機轉ノ序次皆之ニ準ス

而テ更ニウ音ヲ發象スベキ口ノ固有自然形ヲ
以テ齒牙舌唇等ノ作用ニヨリテクストツヌフム
エルウノ九音ヲ發象ス是ヲ父音ト稱ス乃ク父
音ハ舌基ヲ口蓋ノ奥ニ打合セ聲ヲ牙ニ觸レシ
ム故ニ一ニ舌牙父音ト稱スス父音ハ舌尖ヲ以
テ聲ヲ門齒ニ觸レシム故ニ一ニ觸齒父音ト稱

スツ父音ハ舌背ヲ口蓋ニ打合セ聲ヲ其間ニ彈
ク故ニ一ニ彈舌父音ト稱ス又父音ハ舌尖ヲ口
蓋ニ打合セ聲ヲ鼻孔へ洩ス故ニ一ニ舌鼻父音
ト稱スフ父音ハ聲ヲ唯輕ク唇ニ觸レシム故ニ
一ニ觸唇父音ト稱スム父音ハ唇ヲ打合セ聲ヲ
其間ニ彈ク故ニ一ニ彈唇父音ト稱ス又父音ハ
舌側ヲ齧齒ニ打合セ聲ヲ頰内ニ籠ム故ニ一ニ
齧頰父音ト稱スル父音ハ舌ヲ卷キ聲ヲ舌尖ニ
觸レシム故ニ一ニ卷舌父音ト稱ス又父音ハ下
唇ヲ上門齒ニ打合セ聲ヲ下唇ニ強ク觸レシム

故ニ一二(下唇父音)ニ稱ス

但(子音)ノ如キハ唯(父)母兩音ノ相合約シタル
反切音ノミ故ニ略シテ解ヲ贅セズ

第五章 阿也和三行(イウエ音)ノ差別

阿也和三行(イウエ音)ハ互ニ相混同シテ時俗口
語ニハ殆ド言別キガタシト雖(阿)行ノ(イウエ)
音ハ喉音ニシテ單一ナルガ故ニ其音調輕ク也
行ノ(イウエ)和行ノ(ウ)音ハ舌唇牙ノ復雜音ニシテ
重複セルガ故ニ其音調重シ因テ(阿)行ナルハ單
音ニ(イウエ)ト輕ク唱へ也(行)和行ナルハ複音ニ

エイウウエトヤウニ重ク呼做スナリ然(其)

音互ニ相近キヲ以テ古來假字ノ用例ニ辨別ナ

シ今之ヲ識別センニハ假(ニ重)レル(ト)點ヲ字ノ

右肩ニ施シ以テ(阿)行ノ單音ト相差別スベシ是

ヲ(重點)ト名ク也行ナルハ即(イ)和(行)ナルハ即

ウノ如ク書クガ如シ(平假字)ニ於ケルモ亦同シ

但(和)行ノ(イ)音モ亦之ニ準ジテ(阿)行ノ(イ)

エ才音ノ如ク單音ニ輕ク呼バズ複音ニ(ウイ)

ウエウオトヤウニ重ク呼做スベシ

第六章 濁音

濁音トハ迂聲ニ濁リテ呼做ス音ヲ謂フ乃之ガ假字ニハハ^〇點ヲ字ノ右肩ニ施シ以テ清音ト相識別ス是ヲ濁點ト名ク音數加佐多波ノ四行二十個有リト雖^レ畢竟清音ノ變調ニ過ギザルヲ以テ別ニ數ヲ五十音外ニ立テズ即^チガギグゲゴガジズゼゾダヂヅデドバビブベボト書クガ如シ平假字ニ於ケルモ亦同ジ

第七章 次清音并ニ假字

次清音トハ拗聲ニ急ニ放チ呼做ス音便ノ音ヲ謂フ乃之ガ假字ニハハ^〇點ヲ字ノ右肩ニ施シ以

テ正音ト相識別ス是ヲ拗點ト名ク音數五個アリト雖^レ正音ノ變調ナルヲ以テ是亦別ニ數ヲ立テズ即^チハヒブベボト書クガ如シ平假字ニ於ケルモ亦同ジ

第八章 急促音并ニ假字

急促音トハ拗聲ニ急促メテ呼做ス音便ノ音ヲ謂フ乃之ガ假字ニハ其音質次清音ニ相近キヲ以テ同ジクハ^〇點ヲツ字ノ右肩ニ施シ以テ正音ノツト相識別ス即^チ片假字ナルハツ平假字ナルハツト書クガ如シ

第九章 撥鼻音并ニ假字

撥鼻音 トハ鼻聲ニ韻尾ヲ撥ネテ呼做スモノニシテニヌム等ノ音ヨリ轉訛セル音便ノ音ヲ謂フ乃之ガ假字ニハ片假字ナルハ二字ノ尾ヲ撥ネテ^ルト書クガ如シ

第十章 複音異片假字

複音異片假字 トハ二音ニ呼做ス一種異體ノ片假字ヲ謂フ即^ルト書クガ如シ

第十一章 長呼音

長呼音 トハ聲ヲ長ク引イテ呼做ス音ヲ謂フ乃之ガ假字ニハ^一ノ如ク點ヲ字ノ下ニ長ク引キ以テ符標トス是ヲ長點ト名ク例^ハアーヤ^一ヨ^一ウ^一エ^一ナドヤウニ書クガ如シ

第十二章 累疊音

累疊音 トハ同聲ヲ疊累ネテ呼做ス音ヲ謂フ乃之ガ假字ニハ^一ノ點ヲ字ノ下ニ累加ヘ以テ符標トス例^ハバヤ^一ヨ^一タバ^一チ^一ハ^一ナド様ニ書クガ如シ

第十三章 缺舌母音

馱舌母音トハ漢字洋語等ノ音ニハ時アリテ阿行アイウエオノ五音ノ外ニ也行ヤユヨ和行ワエノ五音ヲ以テ一種不規則ニ抛ミタル拗音ノ母音トナスルモノヲ指シテ謂フ即シヤチユリヨクワクエ等ノ如シ

但我日本語ニハ曾テ無キナリ

第十四章 音韻相通

音韻相通トハ五十音圖中同系位ナル音韻互ニ近キモノ相通ヒテ轉化セル一ノ音格ヲ謂フ之ヲ類別シテ縦行相通横列相通ノ二種トス

但縦行相通ヲ衣阿系通縦系汎通ノ二種ニ小分シ横列相通ヲ末波系通横系汎通ノ二種ニ小分ス今一二例ヲ左表ニ舉ゲ以テ其一斑ヲ示サン

縦行相通

衣阿系通

横列相通

末波系通

阿縦行		阿横列	
加縦行		伊横列	
通フ	ケト カト	通フ	マト ハト
シラゲヲシラガ	サケモリヲサカモリ酒宴	カミヲカビ	カマヲカバ蒲
白髮		ヘミヲヘビ	タマルヲタル賜
		蛇	
		碂	

末縦行	波縦行	奈縦行	太縦行	佐縦行
通マメト	通ハヘト	通ナネト	通タテト	通サセト
アガサラカサ雨笠	ウヘギヲウハギ上衣	フネビトラ子ビト舟人	テワザヲクワザ手技	カセカミヲカサカミ風上
伊横列	阿横列	於横列	衣横列	宇横列
トチトシ	トナトヤ	通ボト	通ベト	通フト
アツチヲアツチ天地	アナクラアヤク可憎	トモビラトボビ燈	ヒモヲヒボ紐	ウムヤラウブヤ産室

横系汎通

也縦行	良縦行	和縦行	阿縦行	加縦行
通ヤエト	通ラレト	通ワエト	通アトオ	通キトコ
ヒヅツヲヒヤミツ冷水	マレビトラマラウト客	コエイロヲコワイロ声色	アタゴヲオタギ愛宕	ウヲヲイヲ魚
伊横列	宇横列	衣横列	於横列	
トシトチ	トルトム	トネトエ	トコトソ	
ハナシヲハナチ放	ウナギヲムナギ鰻	イトハレヲイトハ所厭	ミトカラミソカ三十日	コバクヲソバク幾許

縦系汎通

末縱行	波縱行	奈縱行	太縱行	佐縱行	加縱行
トマ 通フ	トベ 通フ	トノ 通フ	トツ 通フ	トセ 通フ	トク 通フ
ヤマ ヒヲヤモヒ	ヲカ ベヲヲカビ	ウノ ハラヲウナ	カ ツノヲカドノ	セ ビヲソビラ	イ ヅクヲイヅコ
病	岡邊	海原	葛野	背平	何所

末縱行	也縱行	良縱行	和縱行
トメ 通フ	トヨ 通フ	トロ 通フ	トワ 通フ
ミナ レヲメナレ	マユ ビキヲマヨビキ	シロ ユキヲシラユキ	タワ ヤマヲタヤマ
見馴	眉引	白雪	手弱女

第十五章 音便

音便 トハ中古以降漢字音ヲ呼馴レタルヨリ連聲ノ便ニ從ヒ轉訛シ來タル一ノ音格ニシテ

正音ニアラザルモノト知ルベシ之ヲ類別シテ
五種トス則イト云フ音便ウト云フ音便
ント撥
ヌル音便ツト急促ル音便次清音ノ音便是ナリ
今近易ナルモノヲ擇ミ表圖ニ舉ゲテ示ス
ノ如シ

イト云フ音便

加縦行	ト呼フ	カクシヲカウシ	籥子
佐縦行	ト呼フ	シカヲシイカ	詩歌
加縦行	ト呼フ	キサキノミヤヲキサキノミヤ	后宮
ウト云フ音便		シジヲシイジ	四時

波縦行	ト呼フ	ハハキラハウキ	箒	フキガハラフイガウ	鞆吹
波縦行	ト呼フ	カリビトヲカリウド	獵師	ソヒテヲソウテ	浴
末縦行	ト呼フ	マヘツギミヲマウチギミ	御前	ツカヘマツルヲツカウマツル	奉仕
末縦行	ト呼フ	タマハリヲタウバリ	給	ノタマフヲノタウフ	宣
波縦行	ト呼フ	カニツケヲカウツケ	上野	カニカキヲカウガイ	簪髮
波縦行	ト呼フ	ヒムカラヒウガ	日向	サムラフヲサウラフ	候
也縦行	ト呼フ	フフヲフウフ	夫婦		
也縦行	ト呼フ	ヤカラヤウカ	八日	ニヨバウヲニヨウバウ	女房
奈縦行	ト呼フ	タニハラタンバ	丹波	イカニライカン	如何
ント撥		ヌル音便			

波縦行	良縦行	末縦行	波縦行	奈縦行
ト呼フ ト呼フ	ト呼フ ト呼フ	ト呼フ ト呼フ	ト呼フ ト呼フ	ト呼フ ト呼フ
アキヒトヲ アキヒト	クルマヲ グンマ	ネモゴロヲ ネンゴロ	ホトホトヲ ホト	キヌガキヲ キンカイ
商人	群馬	懇東	殆	絹垣
	アルベシヲ アンベシ	ナモヲ ナン	オホヲ オン	
	可有	辭之	御大	

末縦行	奈縦行	波縦行	良縦行	末縦行	波縦行
ト呼フ ト呼フ	ト呼フ ト呼フ	ト呼フ ト呼フ	ト呼フ ト呼フ	ト呼フ ト呼フ	ト呼フ ト呼フ
カミベヲ カウベ	ツト急 促ル音便	タチテヲ タツテ	ヤツコヲ ヤツコ	ニヒタヲ ニツタ	タフトヲ タツト
神戸		立	奴	新田	貴
		モチテヲ モツテ	カツテヲ カツテ	シタガヒテヲ シタガツテ	カヘリテヲ カヘツテ
		以	嘗	從	却

次清音ノ音便

オモヒハカルヲ
オモハカル
慮量
フムハツヲ
フンパツ
憤發

波縱行 ツ下ノ次清音 ヒキハルヲヒツパル 引張 ウツフシヲウツブン 鬱憤

第十六章 音韻反切并ニ圖式

音韻反切トハ音韻相通ノ正則ニ從ヒ二音ヲ約
メ一音ニ呼做ス一ノ音格ヲ謂フコハ連聲ノ便
ニ因テ自然口舌作用ノ妙機ニ出ヅルモノトス
反切スル所ノ二音中上ナルハ父音下ナルハ母
音ト假定メ而テ父音ハ縱行ニ上下シ母音ハ横
列ニ左右シ互ニ相通フモノト心得ベシ故ニ父
母同縱行中ニ在ルハ母音ニ歸シ父母同横列
中ニ在ルハ父音ニ歸ス且此反切法ヲ知ル記

憶歌アリ常ニ諳誦スベシ

二音中上は父なり下は母

父は縦なり母は横なり

縦は末に横は本にぞ歸まるなる

父母通ひ合ふ隅に子はなり

此反切法ヲ尚五十音圖ニ就キテ左ニ徴知セシ
メン

例バ日本トイフ國ト云ヘル語中トイノ二音ヲ
反切センニハトハ先ニ呼ブラ以テ上ナレバ父
音ナリイハ後ニ呼ブラ以テ下ナレバ母音ナリ

故ニ其「ト」ト「ト」反切スルキハ則圖ノ如ク「父母」相通ヒ合フ縦横系ノ隅ニ於テ「チ」ト「約」リテ「日本」チ「フ」國トナルナリ
 或ハ友ナラナクニト云ヘル語中「ナク」ノ二音ヲ反切スレバ隅ニ合ヒテ又「ト」約リテ「友」ナラヌニトナルモ亦同規ナリ是ヲ「角切」ト云フ
 又セ「ノ」オト「瀬」之音ノ「ハ」オ「ヲ」反切スレバ本ニ歸シテ「ハ」ト「約」リセ「ノ」トナル是ヲ「横切」ト云フ
 又「ヨ」ソ「ホ」ヒ「粧」ノ「ホ」ヒ「ヲ」反切スレバ末ニ歸シテ「ヒ」ト「約」リ「ヨ」ソ「ヒ」トナル是ヲ「縦切」ト云フ

又「カ」ル「ガ」ユ「エ」ニ故ノ「カ」カ「ヲ」反切スレバ「坐」本ニ歸シテ「カ」ト「約」リ「カ」ル「ガ」ユ「エ」ニトナル是ヲ「坐切」ト云フ等スベテ左ノ圖式ノ如シ

マ	ハ	な	タ	サ	か	ア
ミ	ひ	ニ	ち	シ	キ	い
ム	フ	ぬ	ツ	ス	く	ウ
メ	へ	ネ	テ	セ	ケ	エ
モ	ほ	の	ど	ソ	コ	お

式 法圖 反切 音韻
 十六

ワ	ラ	ヤ
ヰ	リ	イ
ウ	ル	ユ
エ	レ	ヱ
ヲ	ロ	ヨ

第十七章 假字格并ニ記憶歌

〔假字格〕トハ中古以降音格ヤウヤク紊レリシヨ
 リ時俗口語上彼ト是ト相錯誤セルモノ有ルニ
 ヨリ其ガ假字ヲ筆記上ニ正シ以テ文義ヲ誤ラ
 ザラシムル格ヲ謂フ一ツ例ヲ云ハバ粟ハアハ
 ト書クベキヲアワト誤リ泡ハアワナルヲアハ
 ト誤リ藤ハフヂト書クベキヲフジト書キ富士

ハフジナルヲフヂト誤リ絶ハタエナルヲタヘ
 ト書キ堪ハタヘナルヲタエト書誤ル類常ニ多
 キガ如シ是ヲ類別シテ名言假字格動詞假字格
 ノ二種トス

〔名言假字格〕トハ名言ノ上中下ノ音ニ口語上相
 錯誤スベキモノ有ルヲ指ス之ニ十二種ノ差別
 アリ則語ノ上ナルいお語ノ上ナルえん語ノ上
 ナルおを語ノ上ナルじお語ノ上ナルずづ語ノ
 中下ナルわお語ノ中下ナルいお語ノ中下ナ
 ルうぶ語ノ中下ナルえんへ語ノ中下ナルおを

語ノ中下ナルじ語ノ中下ナルず等ノ音ノ假名是ナリ

動詞假字格トハ動詞ノ語尾ノ音ニ口語上相錯誤スベキモノ有ルヲ指ス之ニ四種ノ別アリ則

波行ノ四段上二下二也行ノ上二下二和行ノ一段下二阿行ノ下二等ノ活用ニ係ル音ノ假名是ナリ

盖其用例頗廣キヲ以テ學得ント甚易シトセズ故ニ記憶歌ニ就キテ諳誦ニ磨勵スルノ外更ニ便捷ノ法有ルトナシイマ日用ニ緊切ナルモノ

ヲ擇ミ歌ニ綴リ左ニ舉ゲ以テ初學講習ノ便ニ供ス

名言假字格記憶歌

語ノ上ナルいぬノ假字ノ差別

石錨池イシイカリ犬舳イヌイサ蝨稻シイネ

芋絲イモイト後板カシラハハノ假字

田舎井戸イナカノイ居間圍基イマノイ膝行ヒザヤリ隱元豆カクレノマメ

蝶螭野猪テトリノイノ莞クサノ假字

語ノ上ナルえんノ假字ノ差別

榎枝エノエ白蘇シロゴ草昆布クサノシロ鰈シラ鱈カサ

鯉襟エリ 籠カゴ 驛ヤト ハ元ノ假字

靨エホ 笑エホ 醉エヒ 烏帽カウバウ 子繪コエ 馬画ウマエ 餌エ 圓座エンザ

槐エズ 豌豆エズ 豆マメ 回マワ 向ムク 互タガヒ ノ假字

語ノ上ナルおをノ假字ノ差別

親翁オヤジ 老オシ 長オシ 弟オトコ 鬼オニ 愚オロカ

喂オキ 帶オビ 瘡オシ 痘オシ 狼オカミ おノ假字

男女オトコ 少女メウ 小兒コガ 女郎メウ 花ハナ

尾花オシ 懶オシ 鷓鴣オシ 鷺オシ 芥カイ 桶ツツ をノ假字

語ノ上ナルじちノ假字ノ差別

次男ジツ 事務シム 熟柿ジュクシ 自然シゼン 薯シヨ 神カミ 在餅ザイモナ

十能ジュウ 襦袢ジュハン 磁石ジシ じノ假字

地震チジン 軸陣シユクジン 營重箱エイジュウヤウ 錠定木テイテイキ

祖父ソウフ 女教師メウケウシ 直寺チキジ ちノ假字

語ノ上ナルずづノ假字ノ差別

油桃アヲモ 蕪アヲモ 薏苡仁イモ 數珠ズシユ ずナリ

圖畫ズ 頭顱ズ 頭巾ズ 杜撰ズ づノ假字

語ノ中下ナルわはノ假字ノ差別

泡ウツ 轡ウツ 郭ウツ 鯉魚ウツ ヤヤ 聒ウツ 々ウツ 兒ウツ

皺レ 菓子クワ 山茶花サハナ 冬瓜トウワ わノ假字

河汀カハ 澤庭サハ 石決明イシ 桑柎クハ

枇杷粟團扇 缺ハハノ假字

語ノ中下ナル いるハノ假字ノ差別

鷓鴣 蛛絲 又擢衝立

焙爐 鞞 俎 假字

慈姑 藍紅紫陽花 西瓜類

水門 烏居位 假字

竈 灰 鷲 棘 鬣 魚 鯉 貝 蠶

於篩 鹽 假字

語ノ中下ナル 列ノ假字ノ差別

象 鸚 鵒 鳳 凰 柑 子 豹 首

胡瓜 蒲蘆 牛蒡 假字

蕃椒 葡萄 海菜 玉蜀黍

茗荷 薄樣 唐紙 假字

簾 揚枝 帽子 庖刀 草履 香

燈心 屏風 提燈 假字

堂 土藏 學校 病院 窄廊 下

拍子 木 兩掛 鏡臺 假字

塔 急須 扇 蠟燭 龜甲

十能 什物 雜煮 假字

家業 獵師 蝶 鴟 鴞 四十雀

樗壺盧枋ふノ假字

語ノ中下ナルえゑノ假字ノ差別

鮓榮螺子鷓鴣稗笛吮

藥萌黃熱湯えノ假字

杖机陶器巴蒔繪末

礎梢植木ゑノ假字

蠅蝦蟇鷄冠木栢苗縁豆ヤ

鼎和物髻へノ假字

語ノ中下ナルおをノ假字ノ差別

薑擦物置乳母促織

權衝羽織おノ假字

魚鯉鯢陟釐竿棗

絃鈎手桶をノ假字

氷顔畫眉鳥蟋蟀厚朴

酸漿牽牛花鹽ハノ假字

語ノ中下ナルぢノ假字ノ差別

富士旋風虹雉格羊蛆

蜺鹿尾菜躑躅じノ假字

鍛治鯨竹筴魚藤紅葉楫琴柱

草鞋饅頭ぢノ假字

語ノ中下ナルずづノ假字ノ差別

鼠伯勞雀金鐘蟲鱸蚯蚓

葛鈴硯筭ノ假字

鶴鷄角鴟蛙鯪魚水

盃葛籠赤小豆づノ假字

動詞假字格

波行四段ノ假字

舞ヒ歌ヒ醉ヒ喰ヒ吸ヒ食ヒ給ヒ

販ヒ集ヒ波行ノ四段

乞ヒ願ヒ慕ヒ逆ヒ追ヒ拂ヒ

慰勞ヒ失ヒ波行ノ四段

逢ヒ思ヒ咒咀ヒ占ヒ問ヒ誓ヒ

通ヒ伴ヒ波行ノ四段

買ヒ奪ヒ貫ヒ養ヒ救ヒ飼ヒ

賄ヒ賂ヒ波行ノ四段

負ヒ擔ヒ競ヒ争ヒ鍛鍊ヒ迷ヒ

振ヒ戰ヒ波行ノ四段

縫ヒ繕ヒ纏ヒ粧ヒ襲ヒ覆ヒ

結ヒ合ヒ整ヒ波行ノ四段

笑ヒ祝ヒ行ヒ厭ヒ嫌ヒ向ヒ

狙ネト窺カト。波行ノ四段

言コトト語コトト。率ヒト誘ヒト。副ツキト住スト。

疑ウタガハシト能カト。波行ノ四段

應オウケ接ヒト。斗ハカト。扱ヒト。揃ヒト。違ヒト。

償シツト贖シト。波行ノ四段

習ナラフト憩ヒト。圍カト。煩ワザト。洗ヒト。拭ヒト。

句コトト潤ユルト。波行ノ四段

論コトト。猶豫ウヤウヤト。躊躇ウヤウヤト。番ヒト。綯ヒト。

損ソコナト。諍イカガト。波行ノ四段

觥コウ觸ツクト。狂クハト。踉蹌リョウリョウト。匍匐ボフボフト。惑マドト。

漂ヒ。蕩ヒ。銜ヒ。波行ノ四段

傭ヤトト使ヒト。訪トクト。呼ヨバト。拾ヒト。叶ヒト。

諂ウヤウヤト。敬ヒト。波行ノ四段

波行上二下二ノ假字

生オト。誣シト。強シト。戀コト。ハ。波行ノ上二段

教シト。辯ヒト。波行ノ下二

訴コト訟コトト。終ヒト。構ヒト。準ヒト。堪ヒト。備ヒト。

加カト。拵ヒト。波行ノ下二

扣ヒト。塞サト。仕ヒト。存ナ命ガト。傳ヒト。延ヒト。

捕トト。携ヒト。波行ノ下二

答へ應答へ。迎へ詔へ替へ算へ。

考へ違へ。波行ノ下二

被へ添へ。算入へ交へ。蹇へ衰へ。

唱へ調へ。波行ノ下二

紛へ比へ。喩へ從へ。支へ與へ。

貯へ横へ。波行ノ下二

也。行上二下二ノ假字

報イ悔イ。老イハ也。行ノ上二段。

覺工狼狽工也。行ノ下二

聳工超工。肥工潰工。萎工消工。費工。

殖工瘡工。唾工也。行ノ下二

燃工寤工。互工冷工。凍工見工。聞工。

肖工生工。吠工ハ也。行ノ下二

和行一段下二ノ假字

率^{ヒキ}用^{モチ}斗^ヒ。和行ノ一ノ活。

植工餓工。居工ハ也。和行ノ下二

日本文法摘要卷一終

日本文法摘要卷二

本居 豐穎 閱
小中村清矩
林 甕臣著

第二篇上

第一章 言語ノ成立及類別

言語トハ思想ヲ口音ニ發シ以テ己ガ情ヲ他人
外物ニ相通ズル^ル具ニシテ乃^ハ五十音ノ分合離
聚作用ニ組織スルモノトス是ガ體ニ數種アリ
ト雖^レ約スレバ僅ニ談話討論問答講談ノ四種

二過ギザルモノトス

談話トハ應接上ニ相談ルヲ謂フ

討論トハ互ニ是非ヲ相難ズルヲ謂フ

問答トハ唯問題ニ應ジテ相答辨スルヲ謂フ

講談トハ聽衆ニ對シテ道理ヲ説明スルヲ謂フ

第二章 名言動詞靈辭ノ差別

言語ヲ分解スレバ大別シテ三類トナル則名言

動詞靈辭是ナリ

名言トハ事物ノ名目ヲ示スモノニシテ即言語

ノ體ナリ故ニ一ニ體言ニ稱セリ例ヲ云ハバ馬

鶏手等ノ如シ圖ニ示セル如ク直ニ其物體ヲ指シテ有ノ儘ニ呼做スヲ云フ



動詞トハ事物ノ作用ヲ示スモノニシテ即言語

ノ用ナリ故ニ一ニ用詞ニ稱セリ例ヲ云ハバ走

ル鳴ク攫ム等ノ如シ圖ニ示セル如ク物體ガ舉

動ヲナセル其作用上ヲ指シテ呼做スヲ云フ



舉動



同



同

靈辭トハ事物ノ作用ニ就キテ百般ノ機轉ヲ示
スモノニシテ即言語ノ精神ナリ故ニ一ニ助動
辭ト稱シ又テニヲハト稱セリ例ヲ云ハバテニ
ヲハモゾノヤカナンコソケリナリタリ等ノ如
シ例バ馬ハ嘶クト云ヘバ鶏ハ鳴カズシテ馬バ
カリ嘶クトナリ馬モ嘶クト云ヘバ鶏モ馬モ共

ニ鳴クトナリテ物ノ異同ヲ辨ジ又馬ニ乗ル
鶏ニモノ與フ手ニ持ツト云ヘバ此物ヲ彼ノ物
ニ歸着セシムル意ヲ示シ又馬ヲ走ラス鶏ヲ飼
フ手ヲ舉グト云ヘバ物ヲ意ニ任セテ使用スル
意ヲ示ストナル等ノハモニヲノ類ノ如シ



馬ニ



鶏ニ



手ニ



馬ヲ



鶏ヲ



手ヲ

今尚短句ヲ以テ其ガ三ツノ別ヲ解明サン例バ馬

路上ヲ走ルト云フ語ヲ以テ示サバ馬路上ハ名
言走ルハ動詞ヲハ靈辭ナリ又鶏ハ朝鳴クト云
フ言句中鶏朝ハ名言鳴クハ動詞ハハ靈辭ナリ
又手ニテ物ヲ攫ムト云フ語中手物ハ名言攫ム
ハ動詞ニテヲハ靈辭ナルガ如シ

但名動靈ノ熟字ニ言詞辭ヲ以テ配當セル所
以ノモノハ蓋名言ノ言字ハ廣韻ニ聲成文謂
之音云云音發爲言又說文ニ直言曰言又周禮
大司樂注ニ發端曰言ナド釋シ
動詞ノ詞字ハ康熙字典ニ言之成文爲詞又康

韻ニ說也字彙ニ文也ナドアリ

靈辭ノ辭字ハ書畢命ニ辭尚體要又書呂刑疏
ニ兩辭謂兩人競理也又易繫辭上傳ニ擊辭焉
以盡其言ナド有ルヲ見ルニ其字義ノ差異各
其ガ語意ニ配當スベキ義理ニ相協ヘバナリ

第三章 名言ノ類別

名言ハ語尾轉ジ動カズレテ文意ノ轉化斷續等
ノ作用ヲ有セザルモノヲ指ス之ヲ分類シテ有
形名言無形名言景狀名言代名名言員數名言ノ
五種トス

有形名言トハ一二(形體言)氏稱シ眼ニ見ルベク

シテ形體有ル物ノ名ヲ示スモノヲ謂フ即人獸

馬鷄鯉蛙柳董花瓜電筆紙國郡山川都里村等ノ

如シ

此ニ四種ノ異體アリ復合有形名言(一)意復合有

形言連用有形名言(現)在連用有形言未來連用有形言(過)去連用

質有形名言下略有形名言ト云ヘル是ナリ

復合有形名言トハ二名言以上相復合シテ一

名言ニ呼做ス有形ノモノヲ指ス之ニ一意二

意ノ二種アリ都人山里谷川秋霧野火釣舟朱

硯卷紙假字文等ノ如キ是ヲ一意復合有形言

ト云ヒ天地日月山川火水鳥獸草木筆墨薪炭

弓矢等ノ如キ是ヲ二意復合有形言ト云フ

連用有形名言トハ他ノ動詞ノ活用ヲ名言ノ

上ニ連合セテ一名言ニ呼做スモノヲ指ス之

ニ現在過去未來ノ三種アリ行ク人歸ル路降

ル雨晴ル、空出ヅル月啼ク鷺咲ク花散ル紅

葉讀ム書等ノ如キ是ヲ現在連用有形言ト云

ヒ行キシ人歸リシ路降リシ雨晴レシ空出テ

シ月啼キシ鷺咲キシ花散リシ紅葉讀ミシ書

等ノ如キ是ヲ過去連用有形言ト云ヒ行カ
人歸ラン路降ラン雨晴レン空出デン月啼カ
ン鶯咲カン花散ラン紅葉讀マン書等ノ如キ
是ヲ未來連用有形言ト云フ

〔動質有形名言〕トハモト動詞ヨリ轉シ成レル

一種ノ名言ニシテ語尾ヲ轉シ活用ヲ兼ヌル
一有ルモノヲ指ス即堀ホリ扇ホシ霞カスミ煙ケリ
如シ又之ニ復合ナルアリ復合動質有形言ト
云フ即春霞ハルカスミ空煙カラケリ厚氷アツコホリ等ノ如シ

下略有形名言トハモト動詞ノ既然用ヨリ轉

シ成リテ其語尾ヲ略キタル一種ノ名言ヲ指
ス即雲クモ淀ヨド宿ヤド螺ネ輪ワ等
ノ如シ又之ニ復合ナルアリ復合下略有形言
ト云フ即白雲シラクモ大淀オホヨド人宿ヒトヤド等ノ如シ

無形名言トハ一二性情言性稱シ眼ニ見ルベカ

ラズシテ性ノニ存シ形體無キ物ノ名ヲ示スモ
ノヲ謂フ即靈魂タマシ心性ココロサガ命力イチチカラ齡聲トシコエ音雷ネ夢香ユメカ味譬アジメ業ノト
諺ことわざ年月トシキヒ日古ヒコ今昔イマキナ時折トキマ頃昨コト日今ヒイマ日明ヒアカ日等ヒトドノ如シ
此二四種ノ異體アリ復合無形名言一意復合無二意復

合無形言連用無形名言現在連用無形言未來連用無形言過去連用無形言動
質無形名言下略無形名言ト云ヘル是ナリ

復合無形名言トハ二名言以上相複合シテ一
名言ニ呼做ス無形ノモノヲ指ス之ニ一意二
意ノ二種アリ人靈亡魂親心力技高聲物音斬
味中古今時等ノ如キ是ヲ一意復合無形言ト
云ヒ心性心魂古今昔昨今明日日月年月
等ノ如キ是ヲ二意復合無形言ト云フ
連用無形名言トハ他ノ動詞ノ活用ヲ名言ノ
上ニ連合セテ一名言ニ呼做スモノヲ指ス之

ニ現在過去未來ノ三種アリ明ナル心死ヌル
命弱ル力取ル齡鳴ク聲響ク音食フ味行ク時
來ル頃等ノ如キ是ヲ現在連用無形言ト云ヒ
明ナリシ心死ニシ命弱リシ力取リシ齡鳴キ
シ聲響キシ音食ヒシ味行キシ時來シ頃等ノ
如キ是ヲ過去連用無形言ト云ヒ明ナラン心
死ナン命弱ラン力取ラン齡鳴カン聲響カン
音食ハン味行カン時來ン頃等ノ如キ是ヲ未
來連用無形言ト云フ
動質無形名言トハモト動詞ヨリ轉シ成レル

一種ノ名言ニシテ語尾ヲ轉シ活用ヲ兼ヌル
 一アルモノヲ指ス即思オモヒ憂ウレヒ悲ウレフ
カナシ喜ヨロビ樂タノシム響ヒキ薰カフ等ノ
カナシ教ヲシ學マタフ謠ウタフ釣ツリ等ノ
 如シ又之ニ複合ナルアリ複合動質無形言ト
 云フ即思遣追討組合往復等ノ如シ
 下略無形名言トハモト動詞ノ既然用ヨリ轉
 シ成リテ其語尾ヲ略キタル一種ノ名言ヲ指
 ス即歌ウタ東ツカ尋ヒロク又之ニ複合ナルア
 リ複合下略無形言ト云フ即長歌八束千尋等

ノ如シ
 景狀名言トハ一二(形容言)凡稱シ眼ニ見ルベク
 シテ固有ノ形體無ク唯其様子有様ノ知ラル、
 物ノ名ヲ示スモノヲ謂フ即狀形色光澤映白白
 黒黒赤赤青青黃黃色綠綠色紫紅圓方角隅窪邊
 邊側側傍片本末奧端端表裏内外上上中下下左
 右前前後後豎横丈幅長短大大小小高深廣厚影
 蔭日向暗晝夜朝夕春秋夏冬風嵐旋風東風跡基
 斜等ノ如シ
 此ニ四種ノ異體アリ復合景狀名言(一)意復合景
狀言(二)意復

合景景連用景狀名言現在連用景狀言未來連用景狀言過去連用景狀言動
質景狀名言下略景狀名言ト云ヘル是ナリ

復合景狀名言トハ二名言以上相複合シテ一

名言ニ呼做ス景狀ノモノヲ指ス之ニ一意二

意ノ二種アリ雞形片側鼠色薄紅深綠濃紫山

奥川端真中樹蔭等ノ如キ是ヲ一意復合景狀

言ト云ヒ夏冬縱橫高低本末前後表裏陰陽長

短左右上下等ノ如キ是ヲ二意復合景狀言ト

云フ

連用景狀名言トハ他ノ動詞ノ活用ヲ名言ノ

上ニ連合セテ一名言ニ呼做スモノヲ指ス之

ニ現在過去未來ノ三種アリ造ル形踊ル狀深

ムル色行ク先眺ムル方住ム邊居ル側立ツ跡

見ル影等ノ如キ是ヲ現在連用景狀言ト云ヒ

造リシ形踊リシ狀深メシ色行キシ先眺メシ

方住ミシ邊居リシ側立チシ跡見シ影等ノ如

キ是ヲ過去連用景狀言ト云ヒ造ラシ形踊ラ

シ狀深メン色行カン先眺メン方住マン邊居

ラン側立タン跡見シ影等ノ如キ是ヲ未來連

用景狀言ト云フ

〔動質景狀名言〕トハモト動詞ヨリ轉シ成レル

一種ノ名言ニシテ語尾ヲ轉シ活用ヲ兼ヌル

一アルモノヲ指ス即句ニホヒニホフ

周圍メダリメダル 粧ヨソホヒヨソホフ 潤ウルホヒウルホフ 暈ウルホヒウルホフ 深ウルホヒウルホフ

塊カタマリカタマル 光ヒカリ 等ヒカルノ如シ

〔下略景狀名言〕トハモト動詞ノ既然用ヨリ轉

シ成リテ其語尾ヲ略キタル一種ノ名言ヲ指

ス即下略 高下略 白下略 赤下略 等ノ如シ

〔代名名言〕トハ人及事物ノ名ノ代ニ呼做スモノ

ヲ謂フ之ニ人名指示疑問汎稱ノ四種アリ吾予

已拙者僕迂生我輩汝君那方貴殿彼某某等ノ如

キ是ヲ人名代名名言ト云ヒ彼是此其彼方此方

先方爰許其方其等等ノ如キ之ヲ指示代名名言

ト云ヒ何何如何如何何時何所何程幾幾個幾許

誰誰等ノ如キ是ヲ疑問代名名言ト云ヒ諸諸各

各皆一同一統一般如斯然事物品所場所等ノ如

キ是ヲ汎稱代名名言ト云フ

員數名言トハ物ノ員數ノ名ヲ示スモノヲ謂フ

即一二三四五六七八九十十一二十二二十三

四十五十六十七十八十九十百千萬十萬百萬五

百千

百八千五百八百萬千萬等ノ如シ

第四章 動詞ノ類別

動詞ハ語尾轉シ動キテ文意ノ轉化斷續スル作用ヲ有セルモノヲ指ス之ヲ分類シテ作用動詞

景狀動詞ノ二種トス

作用動詞トハ一二(況活詞)稱シ四段一段上二

段下二段加行佐行奈行變格良行一格等解第七

併ノ條ニ委シニ況ク活キテ事物ノ作用ヲ示ス

モノヲ謂フ即往ク見ル起クル

流ル來ル爲ル

死ヌル 居ル 等ノ如シ

景狀動詞トハ一二(形容詞)又(くしき)詞稱シ

くしきくしき等解ハ下併セ見ベシ條ニ活

キテ事物ノ作用狀態ヲ形容シ其模様有様ヲ示

スモノヲ謂フ即遠ク早ク清ク

多ク 精シク 惡シク 空

シク 淋シク 等ノ如シ

今尚短句ヲ以テ作用景狀ノ二詞ノ差別ヲ會得

セシメンニ例バ遠ク往ク遠キ路ヲ往キケリ往

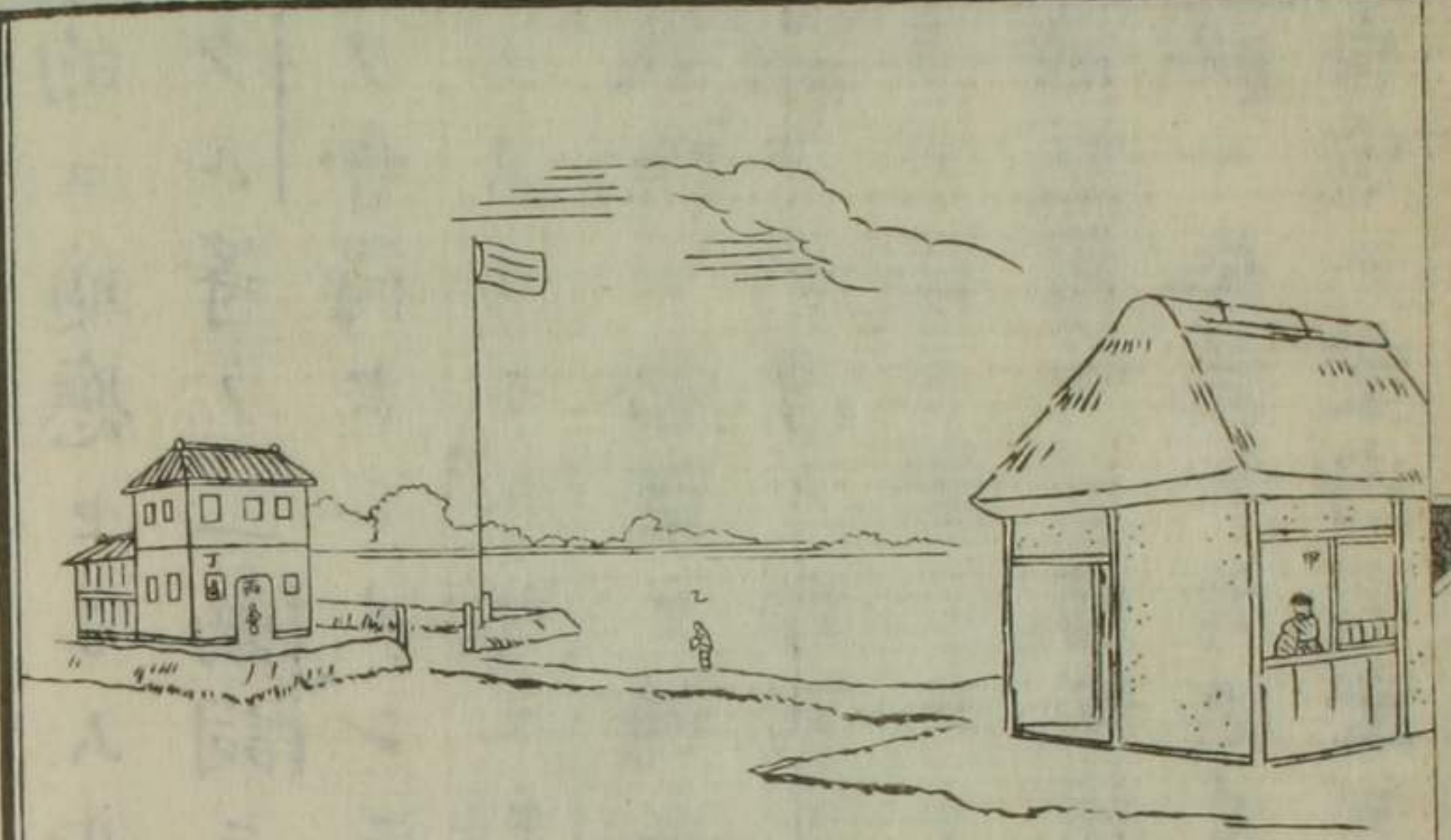
ケバ遠シ等ノ往ク往キケリ往ケバハ作用詞遠

ク遠キ遠シハ景狀詞ナリ又早ク起ク早キ時今朝ハ早シ等ノ起クハ作用詞早ク早キ早シハ景狀詞清ク流ル、水多ク人ノ來ル家等ノ流ル、來ルハ作用詞清ク多クハ景狀詞ナリ又精シク見ル爲ル一ゾ甚惡シキ死ニシ空シキ跡獨居レバ淋シ等ノ見ル爲ル死ニシ居レバハ作用詞精シク惡シキ空シキ淋シハ景狀詞ナルガ如シ

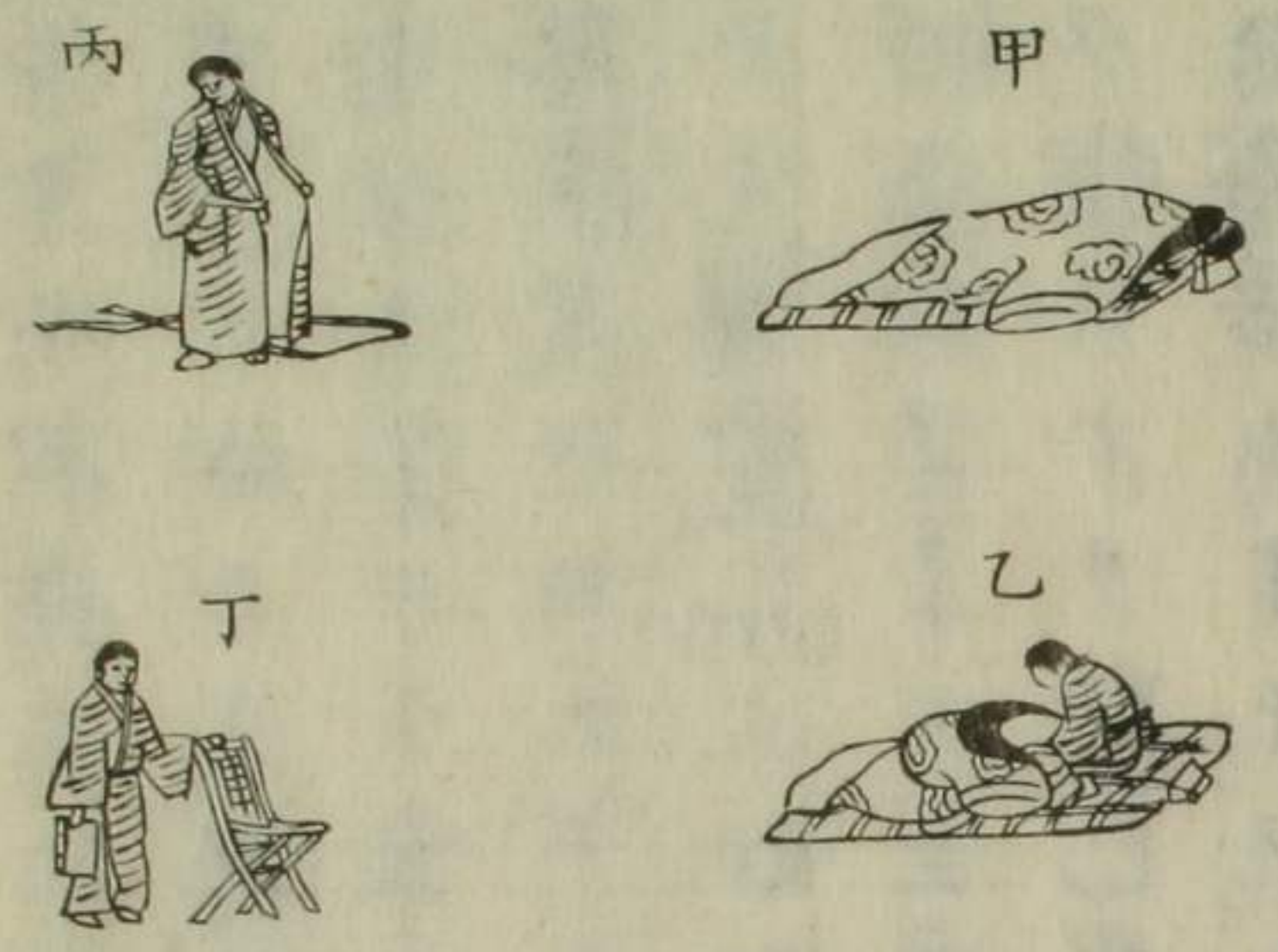
第五章 動詞轉用過現未ノ辨別

動詞轉用過現未下ハ語尾ヲ數様ニ轉化シ現在過去未來等ノ意ヲ辨ジ一詞ニシテ能ク百般ノ目

的ニ適應セシムル活語ノ機轉ヲ謂フ今往ク起クル等ノ二動詞ニ就キ圖ヲ以テ其ガ活キザマヲ會得セシメンニ例バ自宅ヨリ學校ヘ往カントスルニユカユキユクユケト語尾ノ轉ズル中往カハ俗語ノ即ユカウト云フ一ニテ足ハ未室內ヲ一步モ踏出サズシテ唯心ニノミイザ往カウト思ヲ發シタルバカリノ際ヲ指スナリ是ヲ將然用一ニ未來用ニ云フ乃圖中甲ノ如シ又往クハ俗語ニ云フモ同シ一ニテ歩ヲ運ビ足已ニ自宅ノ室内ヲ出デ、學校ノ閨内ニ入ルマデノ



途中歩行ノ間ヲ指スナリ
是ヲ方然用一ニ現在用
稱ス圖中乙ノ如シ又往々
ハ俗語ノユキタレバト云
フ一ニテ學校ニ往キ至リ
タルバカリノ際ヲ指スナ
リ是ヲ已然用一ニ半過去
用ニ稱ス圖中丙ノ如シ又
往キハ俗語ノ即イツタト
云フ一ニテ歩ヲ止メ足既



ニ學校ノ間内ニ定リテ坐
ニ着キタル後ヲ指スナリ
是ヲ既然用一ニ全過去用
ニ稱ス圖中丁ノ如シ
或ハ横ニ卧シタル者ガ起
キントスルニオキオキオ
クオクルオク^レト語尾ノ
轉ズル中起キハ俗語ノオ
キヨウト云フ一ニテ身體
ハ未横ニ平卧シタルマ、

ナガラ唯心ニノミイザサラバ起キヨウト思ヲ
發シタルバカリノ際ヲ指スナリ即チ將然用ニテ
圖中甲ノ如シ又起ク起クルハ臣ニ俗語ノオキ
ルト云フ一ニテ首ヲモチアゲ身ヲ起シテ直立
ニ起キヲハルマデノ舉動中ヲ指スナリ即方然
用ニテ圖中乙ノ如シ又起クレハ俗語ノオキタ
レバト云フ一ニテ漸ク起キ出デタルバカリノ
際ヲ指スナリ即已然用ニテ圖中丙ノ如シ又起
キハ俗語ノオキタト云フ一ニテ嘗テ横ニ卧シ
タル者ガ既ニ豎ニ直立シ起キヲハリタル後ヲ

指スナリ即チ既然用ニテ圖中丁ノ如シ
凡此動詞轉用過現味ニ作用動詞質景狀動詞質
ノ二質アリ
作用動詞質トハ事物ノ作用ヲ示ス詞ノ機轉ヲ
指ス之ニ屬セルハ則將然用チ續動キ既然用チ斷止方
然用チ續名方然用チ已然用チ命令用チノ六種是ナリ
景狀動詞質トハ事物ノ作用狀態ヲ形容シ其摸
樣アリサマヲ示ス詞ノ機轉ヲ指ス之ニ屬セル
ハ景狀則用動詞形容用景狀斷止用名言形容用
景狀已然用ノ五種是ナリ

先作用動詞質ニ就キテ其機轉ノ各用ヲ左ニ解明サン

將然用トハ一二(未來用)凡稱シテ其トヲ將然ニ

爲ヨウト欲スル未來ノ意ヲ示ス詞ヲ指ス例バ

明日ハ花見ニ行カン俗語ノ(明日ハ)夜ハ白ミタ

リイザ起キン俗語ノ(夜ガ)シラヤオキイマニ教ヘン

シバシ待チテヨイママツテオイデス等ノ行カン

起キン教ヘンノ如ク將然ノ用ヲ示スナリ

續動既然用トハ一二(全過去用)凡稱シテ其トヲ

既ニ爲了リタル過去ノ意ヲ示シ動詞ニ續ク詞

ヲ指ス例バ昨日ハ釣ニ行キタリ俗語ノ(昨日ハ)

今朝ハ早く起キケリ(今朝ハ早)其事ハ誰ガ教ヘ

シ(其ト)ハダレ等ノ行キタリ起キケリ教ヘシノ

如ク既然ノ用ヲ示スナリ

但之ガ語尾他ノ動詞ニ續ク性ヲ有セリ例バ

行キ逢フ起キ出ヅル等ノ行キ起キノ如ク其

語尾ノ意斷レズシテ下ノ逢フ出ヅル等ノ動

詞ニ續クガ如シ

斷止方然用トハ一二(現在斷用)凡稱シテ其トヲ

方然目前ニ爲ル現在ノ意ヲ示シ名言動詞ニ續

カズシテ断止ル詞ヲ指ス例バ彼ハヤウ、今起ク〔彼ハヤウト人ニ物ヲ教フ〕人ニ物ヲ教フ〔人ニ物ヲ等ノ起ク〕今オキル

ク教フノ如ク方然ノ用ヲ示スナリ但之ガ語尾他ノ名言動詞ニ續カズシテ断止ル性ヲ有セリ例バ起ク時刻〔起ク〕出ヅル〔出ヅル〕教フ人〔人〕教フ論ス〔人云ハレズ〕語尾ノ意断レテ下ノ時刻出ヅル人論ス等ノ名言動詞ニ續

カザルガ如シ且此断止方然用ハ異同起端靈辭ハモニヲバ徒ノ結尾ヲ兼有ス故ニ動質異同結尾ノ名アリ例

バ今朝ハ晚ク起ク予モ亦人ニ書物ヲ教フ等ノ起ク教フノ如ク上ノハモ等ノ起端ニ對ヘテ下ノ起ク教フノ如キ断止方然用ヲ以テ句尾ヲ結ブガ如シ

續名方然用トハ一二(現在續用)ニ稱シテ上ニ同シク現在ノ意ヲ示シ名言ニ續ク詞ヲ指ス例バ今起クル處ナリ〔今オキルト〕予ハ教フル事ヲ好ム〔ハコノム〕等ノ起クル教フルノ如シ但之ガ語尾他ノ名言ニ續ク性ヲ有セリ例バ起クル時刻物教フル人等ノ起クル教フルノ

如ク其語尾ノ意斷レズシテ下ノ時刻人等ノ
名言ニ續クガ如シ

且此續名方然用ハ指示起端靈辭ゾノヤカナ
ノ結尾ヲ兼有シ以テ下文ヘ續クベキ語脉
ヲ裁斷ス故ニ動質指示結尾ノ名アリ例バ今
朝ゾ予ハ早く起クル何ヲカ人ニ教フル等ノ
起クル教フルノ如ク上ノゾカ等ノ起端ニ對
ヘテ下ノ起クル教フルノ如キ續名方然用ヲ
以テ句尾ヲ結ブガ如シ

已然用トハ一二半過去用ト稱シテ只目前ニ其

一ノ了リタルバカリノ際ヲ指ス故ニ半ハ現在
半ハ過去ノ意ヲ兼ネタル詞ナリ例バ往ケバ先
方ヨリモ來タル^{エキタル}先^キ起クレバ自然目
ハ覺ム^{オキタル}教フレ^レ覺エズ^{タレ}レ
オ^{ボエ}等ノ往ケバ起クレバ教フレ^レノ如シ
且此已然用ハ反語起端靈辭コソノ結尾ヲ兼
有シ以テ下文ヘ續クベキ語脉ヲ裁斷ス故ニ
動質反語結尾ノ名アリ例バ今朝コソ人ヨリ
先ニ起クレ何時モ晚シ^{ケサ}コソ人ヨリモ
ソモオ人ノ爲ヲ思ヘバコソ物ハ教フレ^レタメ

ヲ思ヘバコソ物等ノ起クレレ教フレノ如ク上
 ノコソノ起端ニ對ヘテ下ノ起クレ教フレノ
 如キレ已然用レ下ノ副ハルヲ以テ句尾ヲ結ブガ如シ
 命令用トハ一ニ希求用レ氏稱シテ其ノヲ他ニ希
 求ムル命令ノ意ヲ示ス詞ヲ指ス例レバ學校ヘ往
 ケレ學校ヨエユレ早く起キレヨレ早ウオキレ其道理ヲ教ヘ
 テレヨレソノ道理ヲ等ノ往ケレ起キレヨレ教ヘテレヨノ如
 ク命令ノ用ヲ示スナリ
 次ニ景狀動詞質ニ就キテ其機轉ノ各用ヲ左ニ
 解明サン

景狀則用ハ一ニ景狀未來用レ氏稱シテ上ノ作用
 動詞質ノ將然用トハ少シ異リテ其所用狭ク唯
 其ノ然ルレハト云フ意味ノ一用アルノミニ
 テ景狀ノ未來ノ意ヲ示ス詞ナリ例レバ季候寒ク
 バレ俗語ノサム風烈シクレバレ風ハダシレ等ノ寒クバ
 烈シクバノ如シ
 動詞形容用トハ一ニ續動已然用レ氏稱シテ上ノ
 作用動詞質ノ已然用ト其意同シキモノカラ動
 詞ニ續ク詞ヲ指ス例レバ寒クテ凌ギ兼又レサムウ
 ギル風ハ烈シクレ氏雨ダニ降ラズバレ風ハダシレモア
 十六

ナメサエフラ等ノ寒クテ烈シク_{景状ノ已然用ヲ示ス}凡ノ如シ
但之ガ語尾他ノ動詞ニ續ク性ヲ有セリ例バ
寒ク吹ク風烈シク降ル雨等ノ寒ク烈シクノ
如ク其語尾ノ意斷レズシテ下ノ吹ク降ル等
ノ動詞ニ續キ而テ其動詞ノ意味ヲ形容スル
ガ如シ

景狀斷止用トハ一ニ斷止已然用_{凡稱シテ只目}
前ニ其ノ了リタルバカリノ際ヲ指ス上ノ
作用動詞屬ノ已然用ト其意稍同シキモノカラ
事物ノ模様有様ヲ示シ其ガ語尾斷止ル詞ヲ云

フ例バ吹ク風寒シ_{吹ク風音ハイト烈シ}霰降ル音ハイト烈シ_{霰音ハイ}
但之ガ語尾他ノ名言動詞ニ續カズテ斷止
ル性ヲ有セリ例バ寒シ風_{寒シ風音ハイト烈シ}吹ク_{吹ク音ハイト烈シ}
霰_{霰音ハイ}烈シ降ル_{降ル音ハイト烈シ}云ハレズ寒シ烈シ等ノ語尾
其意斷レテ下ノ風吹ク霰降ル等ノ名言動詞
ニ續カザルガ如シ
且此斷止已然用モ亦異同起端靈辭_{ハモニヲバ徒}
ノ結尾ヲ兼有ス故ニ動質異同結尾ノ名アリ
例バ河風ハ殊ニ寒シ雷雨マス、烈シ等ノ

如ク上ノハ徒等ノ起端ニ對ヘテ下ノ寒^シ烈^シ如キ斷止已然用ヲ以テ句尾ヲ結ブガ如^シ

名言形容用トハ一ニ續名已然用^ト稱シテ上ニ同シク只目前ニ其^一ノ了リタルバカリノ際ヲ指ス^一上ノ作用動詞質ノ已然用ト其意稍同シキモノカラ事物ノ模様有様ヲ示シ其ガ語尾動詞ニ續ク詞ヲ云フ例ハ時候ノ寒^キ烈^シニ^時候ノ^サ其勢烈^シキカナ^其勢^ハ等ノ寒^キ烈^シニ^時候ノ^サ烈^シキカナ^其勢^ハ等ノ寒^キ烈^シニ^時候ノ^サノ如ク景狀ノ已然用ヲ示スナリ

但之ガ語尾他ノ名言ニ續ク性ヲ有セリ例ハ寒^キ風^烈シ^キ霰^等ノ寒^キ烈^シキノ如ク其語尾ノ意斷レズシテ下ノ風霰等ノ名言ニ續キ而テ其名言ノ情狀ヲ形容スルガ如シ且此續名已然用ハ指示起端靈辭ゾノヤカナ^シノ結尾ヲ兼有シ以テ下文ヘ續クベキ語脉ヲ裁斷ス故ニ動質指示結尾ノ名アリ例ハ霰降ル日ゾ殊ニ寒^キ嵐ノ音ヤイカニ烈^シキ等ノ寒^キ烈^シキノ如ク上ノゾヤ等ノ起端ニ對ヘテ下ノ寒^キ烈^シキノ如キ續名已然用ヲ以

テ句尾ヲ結ブガ如シ

景狀已然用トハ上ノ作用動詞質ノ已然用ト其
 意全相同シ唯景狀ト作用トノ別アルノニ例バ
 今朝ハ寒ケレバ池水厚ク氷レリケサハ寒イコ
 今朝ハ寒ケレバ池水厚ク氷レリウデサハ寒イコ
 風烈シケレバ雨ヨヌサマニ降ルナリハ風ガ
 風烈シケレバ雨ヨヌサマニ降ルナリハ風ガ
 且此景狀已然用ハ反語起端靈辭コソノ結尾
 ヲ兼有シ以テ下文へ續クベキ語脉ヲ裁斷ス
 故ニ動質反語結尾ノ名アリ例バ風コソ寒ケ
 レモハヤ季候ハ春ナリ風ハ寒イ春エレエ暖カウ

雷ノ音コソハ實ニ劇シケレホカノ音ハサノ
 ハ音ハ實ニ等ノ寒ケレ劇シケレノ如ク上ノ
 コソノ起端ニ對ヘテ下ノ寒ケレ劇シケレノ
 如ク語尾ニドレノ靈辭ノ副ルベキ反語ノ意
 ナル景狀已然用ヲ以テ其句尾ヲ結ブガ如シ

第六章 動詞用性自他ノ辨別

動詞用性自他トハ動詞ノ用格中自動性ニ屬セ
 ルモノト他動性ニ屬セルモノトノ二性アルヲ
 謂フコハ其語尾ノ轉用スルニ定則アル格ニヨ
 リテ瞭然辨識セラルモハニシテ今ソレガ一

端ヲ左ニ示サン

例バ加行四段活用解ハ下ノ第七章ノ条ニテ招

カマネキマネクマネケト活クキハ自ガ他ヲ招

ク一ナルヲ其用格ニ佐行下二段活用解同シク

ヲ合セテ招カセマネカセマネカスマネカスル

マネカスレバト活クキハ人ニ令シテ他ヲ招カシ

ムルトトナリ又其ニ良行下二段活用ヲ合セテ

招カレマネカレマネカルマネカルマネカル

レバト活クキハ自ガ他ニ招カルトトナルナリ

コレガ自他識別ノ概略ヲ左ニ示サン

自動性トハ其詞ノ活用ヲナス處ノ性質全自己

ノ意ニ出デ、他人外物ノ力ヲ被ラザルモノヲ

指ス之ニ屬セルハ則單自爲性ヒトヨリサスル管他爲性ヒトニシテサスル使人爲

性サガ是ナリ

他動性トハ其詞ノ活用ヲナス處ノ性質全自己

ノ意ニ出デズシテ他人外物ノ力ヲ被ルモノヲ

指ス之ニ屬セルハ則天然性オノツカラシカルサガ如意然性ゴロノマニシカルサガ被人爲性ヒトニシカセラル、サガ

是ナリ

先自動性ニ就キテ其各性ヲ識別スルト左ニ

會得セシメントス

單自爲性ハ一ニ自然スル性凡稱シテ已ガタメ
ニ自身其トヲ爲ル性ヲ有セル詞ヲ指ス例ハ花
ヲ見ルハ鷺ノ音ヲ聞ク門外へ出ヅル
等ノ見ル聞ク出ヅルノ如シ

管他爲性ハ一ニ他ニ然スル性凡稱シテ他人外
物ノクメニ自身其トヲ爲ル性ヲ有セル詞ヲ指
ス例ハ人ニ庭ノ花ヲ見スル
講義爲テ人ニ
聞カスルハ塾生ヲ遊歩ニ出ダス等ノ見スル
聞カスル出タスノ如シ
使人爲性トハ一ニ他ニ然セサスル性凡稱シテ

他人ヲシテ其トヲ爲サスル性ヲ有セル詞ヲ指
ス例ハ人ヲ遣リテ先方ノ様子ヲ見スル
使
ヲシテ彼ガ返事ヲ聞カスルハ人ニ入費ヲ出
サスルハ等ノ見スル聞カスル出サスルノ如
シ但見ヨ聞ケ出ダセ等ノ命令用トハ其
用ト性トノ差別アリ混ズベカラズ
次ニ他動性ニ就キテ其各性ヲ識別スルト左
ニ示サン

天然性トハ一ニ意識外ニ然ル性凡稱シテ意ヲ
求メズ其トノ知ラズ識ラズ外ヨリ我ニ來タル
性ヲ有セル詞ヲ指ス例ハ沖ノ方ニ見ユル船鐘

ノ音ヅ遠ク聞ユル月ハ山ノ端ニ出ヅル
ノ見ユル聞ユル出ヅルノ如シ
等

如意然性トハ一ニ隨意ニ然セラル、性凡稱シ

テ希望スルマ、ニ其一ノ天然ニ爲シ得ラル、

性ヲ有セル詞ヲ指ス例バ吉野ニ住メバ居ナガ

ラ花ガ見ラル、山里ニ居レバ待タズシテ

郭公ノ音ヲ聞カル、今日ハ朝カラ遊ニ出

ラル、等ノ見ラル、聞カル、出ラル、ノ

如シハ人ニ對シテ決テハ、對シテ見スル

被人爲性トハ一ニ他ニ然セラル、性凡稱シテ

希望セザルニ他人外物ノタメニ威カヲ被リ自

由ニ爲ラル、性ヲ有セル詞ヲ指ス例巴面ヲ人

ニ見ラル、ヲ耻ヅ密談ヲゾ人ニ聞カル、家ヲ

追出サル、人等ノ見ラル、聞カル、出サル、

ノ如シ

第七章 動詞用格ノ類別

動詞用格トハ動詞ノ活用ニ數種ノ格例アルヲ

謂フ是ヲ大別シテ正格變格復格ノ三類トス

正格トハ五十音系位ニ準則シ轉用スル詞格其

規則正シキモノヲ謂フ更ニ是ヲ分類シテ四種

トス則四段活用一段活用上二段活用下二段活用是ナリ

變格トハ五十音系位ニ準則シ轉用スル詞格其規則錯雜ナルモノヲ謂フ是ヲ分類シテ五種トス則加行變格佐行變格奈行變格良行一格くしき活用是ナリ

復格トハ他ノ用格ヲ合セテ一格ニ活用ク復雜ナルモノヲ謂フ是ヲ分類シテ三種トス則四段ノ第四音ヨリ良行一格有ニ活ク格漢語ヨリ佐行變格ニヨリ良行一格有ニ活ク格

活ク格是ナリ高各種ノ他格ヨリ煩及良行下

先正格ニ就キテ詞格ノ義理ヲ左ニ解明サン

四段活用トハ五十音圖中加佐太波末良ノ六縱

行阿伊字衣ノ四横列ニ涉リ四段ニ活用クモノ

ヲ指ス例バ左ノ圖式ニ示スガ如ク往卧等ノ字

ノ詞格ニ就キテ云ハムユカユキユクユケフサ

フシフスフセトヤウニ語尾ヲ轉ジテ活用クガ

如シ

ア	將然用	既然用	方然用	已然用
イ				
ウ				
エ				
オ				

四段活用圖式

一段活用 十八 五十音圖 中加奈波末也和ノ六縱

	借	讀	逢	立	卧	行		
ワ	ら	ヤ	ホ	ナ	た	さ	か	
キ	り	イ	み	ひ	ニ	ち	し	き
グ	る	ユ	む	ふ	ヌ	つ	す	く
エ	れ	エ	め	へ	ネ	て	せ	け
ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ

行伊ノ一横列ニ局リル。レノ助用音相副リテ一段ニ活用クモノヲ指ス例バ左ノ圖式ニ示スガ如ク着煮等ノ字ノ詞格ニ就キテ云ハバキキキルキレニニルニレバトヤウニ語尾ヲ轉ジ活用クガ如シ

一段

		着	
タ	サ	カ	ア
チ	シ	き レル	イ
ツ	ス	ク	ウ
テ	セ	ケ	エ
ト	ソ	コ	オ

已方既將 然然然然 用用用用

活用 圖式

居	射	見	乾	煮	
ハ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ
ゐ <small>レ</small>	リ	じ <small>レ</small>	み <small>レ</small>	ひ <small>レ</small>	に <small>レ</small>
ヴ	ル	ユ	ム	フ	ヌ
エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ
ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ

上二段活用トハ五十音圖中加太波末也良ノ六
 縦行伊字ノ二横列ニ涉リルレノ助用音相副リ
 テ上位ノ二段ニ活用クモノヲ指ス例ハ左ノ圖
 式ニ示スガ如ク起落等ノ字ノ詞格ニ就キテ云

ハミオキシオキシオクルオクルオクレオクオクオツ
 オツルオツレトヤウニ語尾ヲ轉ジテ活用クガ
 如シ

活用圖 上二段

誣	落	起			
ハ	ナ	タ	サ	カ	ア
ひ <small>レ</small>	ニ	ち <small>レ</small>	シ	き <small>レ</small>	イ <small>レ</small>
ふ <small>レ</small>	ヌ	つ <small>レ</small>	ス	く <small>レ</small>	ウ <small>レ</small>
へ	ネ	テ	セ	ケ	エ
ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ

將然用
 既然用
 方然用
 已然用

式

恨	悔	下
マ	ヤ	ラ
み	い	り
む	ゆ	る
メ	エ	レ
モ	ヨ	ロ
		ヲ

下二段活用トハ五十音圖中阿加佐太奈波末也
 良和ノ十縦行衣字ノ二横列ニ涉リルレノ助用
 音相副リテ下位ノ二段ニ活用クモノヲ指ス例
 バ左ノ圖式ニ示スガ如ク得受等ノ字ノ詞格ニ
 就キテ云ハバエウウルウレウケウクウ
 クルウクレバトヤウニ語尾ヲ轉ジ活用クガ如シ

下二段 活用圖 式

得	受	瘦	捨	兼	換	譽	超	枯
ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	イ	リ
ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	イ	リ
ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	イ	リ
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ

植
ワ
牛
シ
ヤ

次ニ變格ニ就キテ詞格ノ義理ヲ左ニ解明セン
 加行變格トハ五十音圖中加ノ一縦行於伊字ト
 ヤウニ音位ヲ是彼轉輾錯綜シテ三横列ニ涉リ
 三段ニ活用クモノヲ指ス乃左ノ圖式ニ示スガ
 如ク此格ハ來ノ一字ノ詞格ニノニ關リテ活用
 中キククルクレト轉用スル狀態ハ正格ノ上ニ
 改活用ニ相似テコノ一音下ヨリ反轉シ加リテ
コキククルクレトヤウニ語尾ヲ轉ジテ活用ク
 ガ如シ

加行 變格 圖式

							來		
ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	
リ	バ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ	既然用
ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	方然用 巴然用
レ	ヱ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	
ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ	由然用

ワ
キ
ヴ
エ
ヲ

佐行變格トハ五十音圖中佐ノ一縱行衣伊字トヤウニ音位ヲ轉輾錯綜シテ三橫列ニ涉リ三段ニ活用クモノヲ指ス乃左ノ圖式ニ示スガ如ク此格ハ爲ノ一字ノ詞格ニノニ關リテ活用中シスルスレト轉用スル狀態ハ正格ノ上二段活用ニ相似テセノ一音下ヨリ反轉シ加リテセシスルスレトヤウニ語尾ヲ轉ジテ活用クガ如シ

既然用
方然用
已然用
由然用

佐行變格圖式

							爲		
ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア
キ	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ
ヴ	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	サ レ	ク	ウ
エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	サ レ	ケ	エ
ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ

奈行變格トハ五十音圖中奈ノ一縦行阿伊字衣ノ四横列ニ涉リ四段ニ活用ク状態一種異ナル格ヲ指ス乃左ノ圖式ニ示スガ如ク此格ハ往死等ノ二字ノ詞格ニ係リテ活用中ニ又又ル又レト轉用スル状態ハ正格ノ上二段活用ニ相似テ上下ニナネノ二音加リテイナイニイヌイヌルイヌビイネシナシニシヌシヌルシヌビシネトヤウニ語尾ヲ轉ジテ活用クガ如シ

ア	將然用
イ	既然用
ウ	方然用
エ	已然用
オ	命令用

奈行 變格 圖式

					死往			
ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	な	タ	サ	カ
ヰ	リ	バ	ミ	ヒ	に	チ	シ	キ
ヴ	ル	ユ	ム	フ	ぬ	ツ	ス	ク
ヱ	レ	エ	メ	ヘ	ね	テ	セ	ケ
ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ

良行一格トハ五十音圖中良ノ一縦行阿伊字衣

ノ四横列ニ涉リ四段ニ活用ク状態一種異ナル
 格ヲ指ス乃左ノ圖式ニ示スガ如ク此格ハ有居
 等ノ二字ノ詞格ニ係リテ活用中ラリルレト轉
 用スル状態ハ全正格ノ四段活用ニ相似テ續動
 既然用タル有リ居リノ語尾ニ斷止方然用ノ語
 尾ニ屬スベキヤトテフノ語尾靈辭相副リテ
 斷ル、意ノ現在ノ用格トナリテアリヤアリト
 アリ_レアリ_レテフ_レヤリ_レトヤリ_レレ_レテフ_レ
 トヤウニ有リ居リノリヨリヤト_レテフ_レノ靈辭
 ヲ副ヘテ斷ル、現在ノ意ヲ兼ネテ活用クガ如

良行 一格 圖式

ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	將然用
イ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ	既然用 方然用
ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	方然用
エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	已然用
ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ	

有	居				
ら	ワ				
り <small>ヲヤ</small>	キ				
る	ダ				
れ	エ				
ロ	ヲ				

くしき活用トハ五十音圖中加縦行クキケノ音
 ニ佐縦行シノ音ノ相錯雜シテ活用ク一種ノ格
 ヲ指ス例ハ左ノ圖式ニ示スガ如ク寒清等ノ字
 ノ詞格ニ就キテ云ハムサムクサムシサムキサ
 ムケレキヨクキヨシキヨキヨケレトヤウニ
 語尾ヲ轉ジ活用クガ如シ
 但之ニ三種ノ異體アリしくしき活用けく
 けしけき活用たくたしたき活用ト謂フ是ナ

リ
しくしき活用トハ乃左ノ圖式ニ示スガ如
 ク烈嬉等ノ字ノ詞格ニ就キテ云ハムハゲシ
 クハゲシハゲシキハゲシケレウレシクウレ
 シウレシキウレシケレトヤウニ語尾ヲ轉ジ
 活用クガ如シ
 けくけしけき活用トハ乃左ノ圖式ニ示スガ
 如ク遙朗等ノ字ノ詞格ニ就キテ云ハムハル
 ケクハルケシハルケキハルケケレサヤケク
 サヤケシサヤケキサヤケケレトヤウニ語尾

ヲ轉ジ活用クガ如シ

たくたしたき活用トハ乃左ノ圖式ニ示スガ
如ク痛慨等ノ字ノ詞格ニ就キテ云ハハ「イタ
クイタシイタキイタケレ」ウレタクウレタシ
ウレタキウレタケレトヤウニ語尾ヲ轉ジ活
用クガ如シ

寒	烈	朗	痛	ア	イ	ウ	エ	オ
サ	カ	キ	ク	ケ	コ	ク	ケ	コ

景狀動用 景狀則用 名言形容 動詞形容 景狀已然

くしき

活用圖

式

ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ
キ	リ	イ	エ	ヒ	ニ	チ
グ	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ
エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ
ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト

次ニ復格ニ就キテ詞格ノ義理ヲ左ニ解明セン
四段ノ第四音ヨリ良行一格有リニ活ク格トハ
四段活用ノ已然用ナルケセテヘメレノ下ニ良

行一格ノ有リノ活用ヲ連ネ二格復合シテ一格ニ活用クモノヲ指ス例、バ左ノ圖式ニ示スガ如ク行卧等ノ字ノ詞格ニ就キテ云ハ「ユケル」「ユケル」「ユケル」「ユケル」「ユケル」トヤウニアリノ「ア」音ヲ略キテ二詞格相連ネ活用クガ如シ

四段ノ第四

サ	カ	ア	將然用
シ	キ	イ	方然用
ス	ク	ウ	方然用
セ	ケ	エ	已然用
ソ	コ	オ	

音ヨリ良行
一格有リニ
活ク格

行	有	タ	チ	ツ	テ	ト
卧	有	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
		ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
		マ	ミ	ム	メ	モ
		ヤ	イ	ユ	エ	ヨ
		ラ	リ	ル	レ	ロ
		ワ	ヰ	ヱ	ヰ	ヲ

「ク」「キ」活用ヨリ良行一格有リニ活ク格トハ「ク」「キ」活用ノ動詞形容用ナルク「ク」ノ下ニ良行一格ノ有リノ活用ヲ連ネ二格復合シテ一格ニ活用

クモノヲ指ス例ハ左ノ圖式ニ示スガ如ク寒烈
 等ノ字ノ詞格ニ就キテ云ハ「サムカレ」サムカ
 リ「サムカ」ル「サムカレ」トヤウニ「クア」ノ二音ヲ反
 切シテ「カ」ト「約」メテ二詞格相連ネ活用キ又「ハゲ
 シカレ」ハゲシカリ「ハゲシカル」ハゲシカレトヤ
 ウニシ「クア」ノ「クア」ノ二音ヲ反切シテ「カ」ト「約」メ
 テ二詞格相連ネ活用クガ如シ

カ	ア	將然用
キ	イ	既然用 方然用
ク	ウ	方然用
ケ	エ	已然用
コ	オ	小

くき活
 用ヨリ良
 行一格有
 リニ活ク
 格

	寒	烈	有	サ	シ	ス	セ	ソ
ワ	ら	り	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	チ
キ	り	る	バ	ミ	ヒ	ニ	ツ	テ
ウ	る	れ	ユ	ム	フ	ヌ	ネ	ト
エ	れ	口	エ	メ	ヘ	ネ	ホ	ノ
ヲ	口	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	

漢語ヨリ佐行變格ニ活ク格トハ漢語ノ下ニ佐
 行變格ノ爲ノ字ノ詞格ヲ連ネ一格ニ活用クモ

ノヲ指ス例バ左ノ圖式ニ示スガ如ク奏禁等ノ
 字ノ詞格ニ就キテ云ハバソウセソウシソウス
 ソウスルソウスルソウスルソウスル
 ルキンズルソウスルソウスルソウスル
 シ

漢語ヨリ	奏禁	爲	ア	カ	サ	タ
			イ	キ	ク	チ
			ウ	ケ	ク	ツ
			エ	コ	ク	テ
			オ	コ	ソ	ト

既
然
用
方
然
用
已
然
用
出
格
註

佐行變格
ニ活ク格
圖式

ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
ニ	ヒ	ミ	バ	リ	キ
ヌ	フ	ム	ユ	ル	グ
ネ	ヘ	メ	エ	レ	エ
ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	ヲ

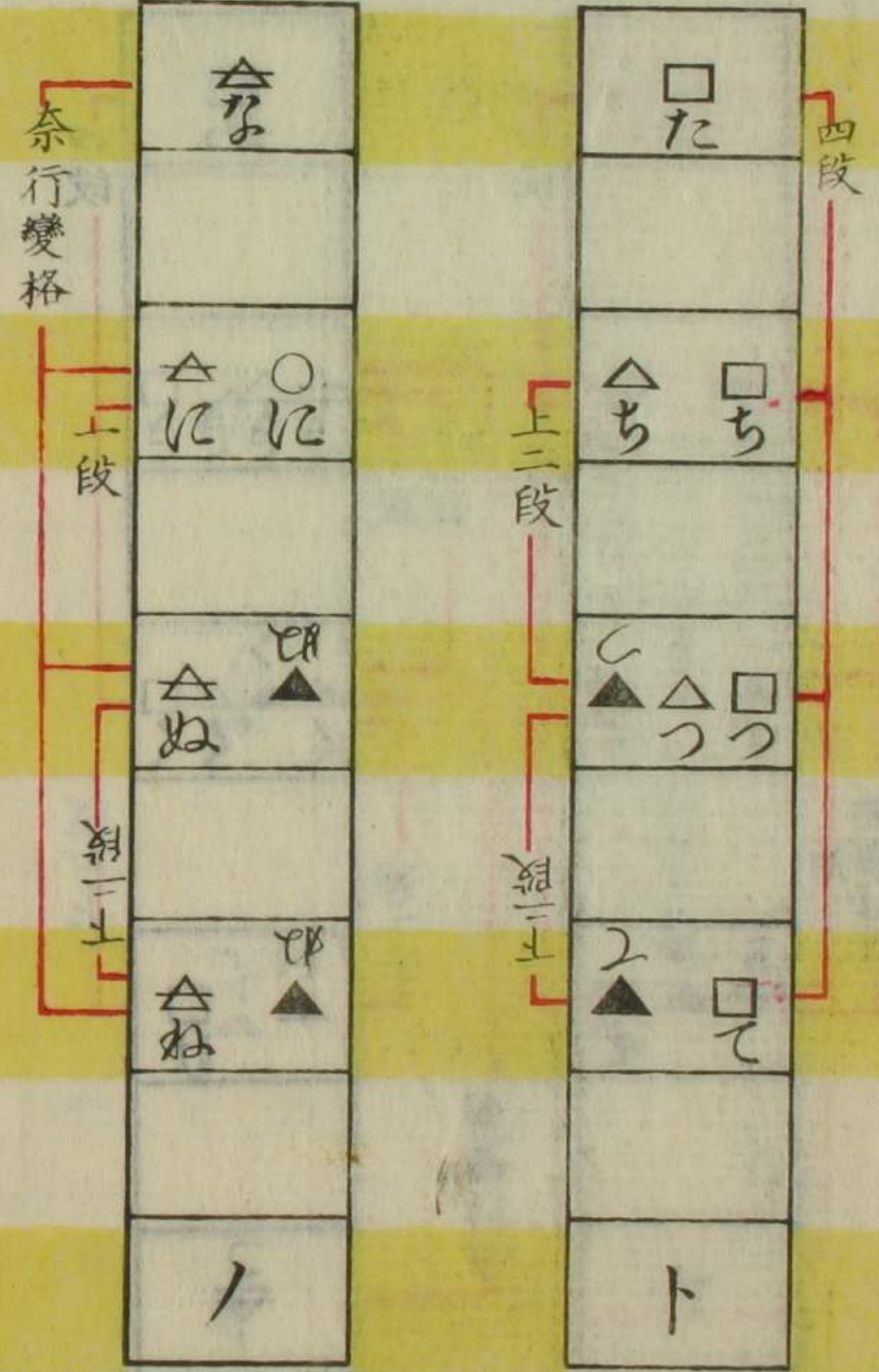
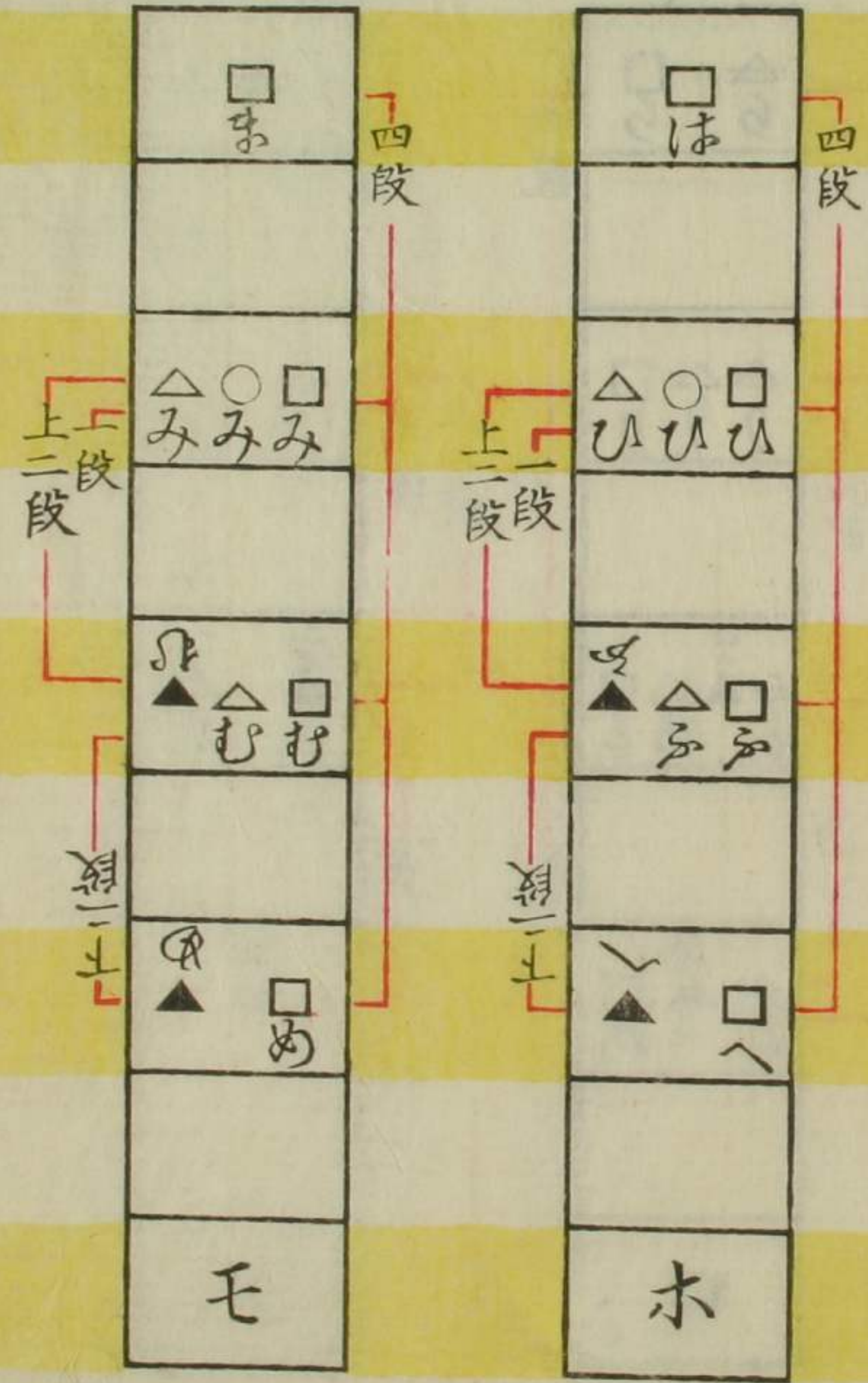
右ノ圖式モヲ尚指掌圖ニ約製シ更ニ朱引彩色
 等ヲ施シ以テ詞格活用ニ係ル音ノ系位ヲ示ス
 一左ノ如シ

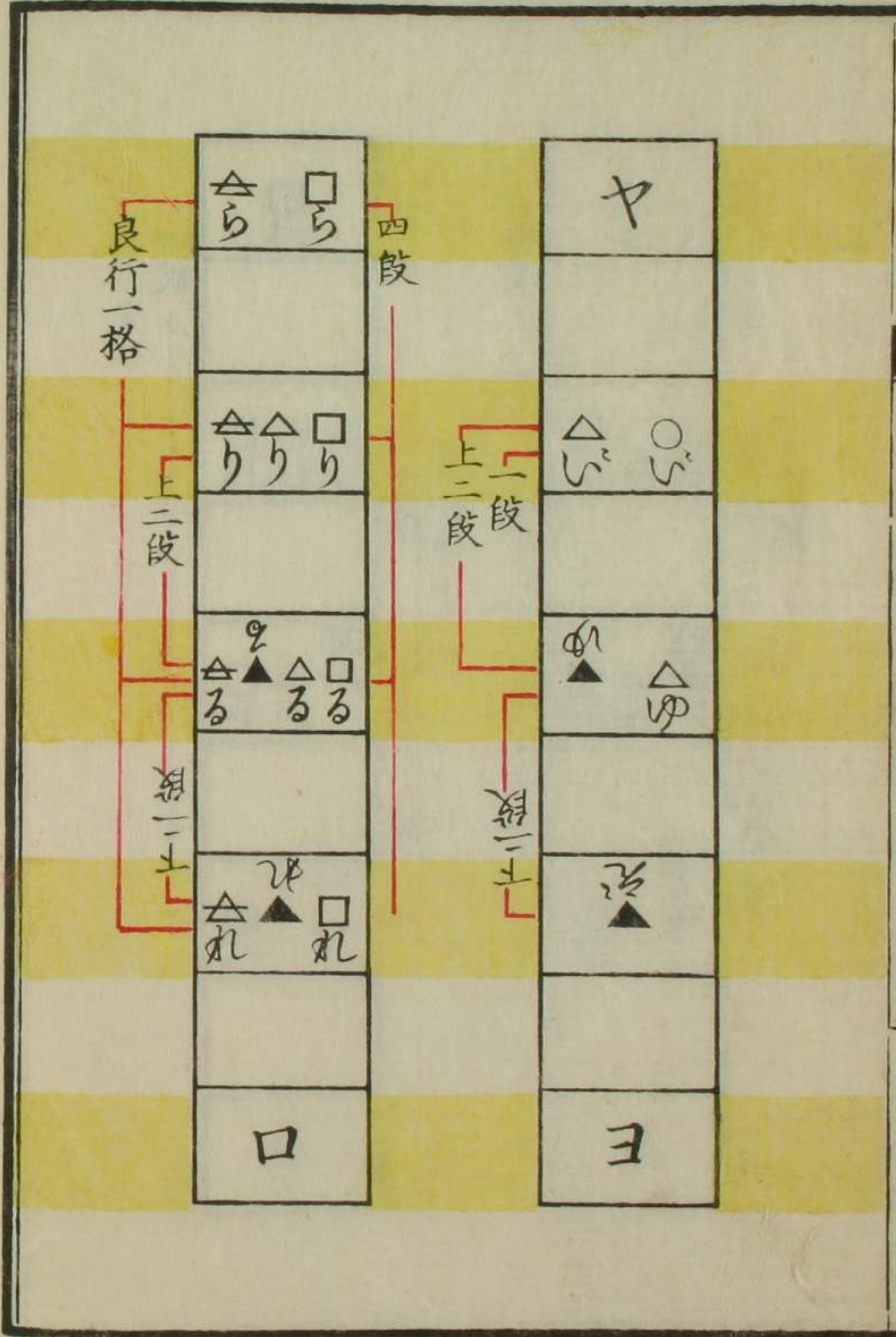
ア	用然將	□四段活用 △上二段活用 ○一段活用 △變格
イ	然用 既用 將然	
ウ	然用 方用 然方	
エ	然用 已用 將然	
オ	用然將	

下二段

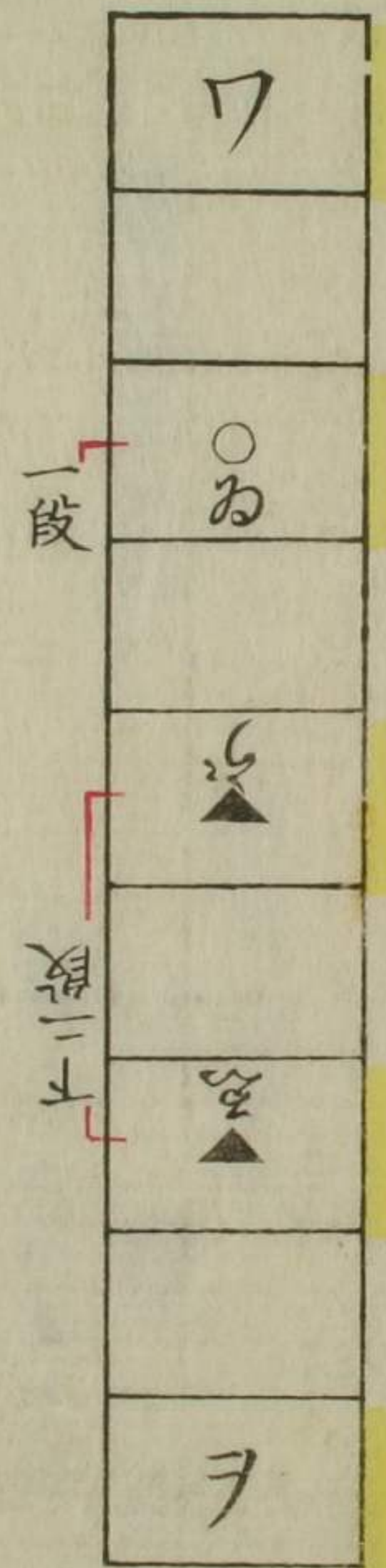
カ	四段	□四段活用 △上二段活用 ○一段活用 △變格
キ	然用 既用 將然	
ク	然用 方用 然方	
ケ	然用 已用 將然	
コ	用然將	

上二段 下二段 下佐 下行變格 加行變格





前章各圖式^レヲ本文ト引照ラシ反復數回熟視
 玩味セバ義理オノヅカラ瞭然トシテ千言萬語
 皆同揆一轍ニ五十音縦行橫列ノ系位ニ準則シ
 語尾ノ轉用スルニ隨ヒ過去現在未來命令及自



動他動等ノ數用數性ヲ具備シ以テ人事百般ノ
目的ニ應用シ各ソレニ一定ノ格例アル等ノ端
緒ヲ畧窺知ラルヘシ尚其クハシキハ後帙ニ說
明セル靈辭ノ条ヲ熟讀セシ上本篇ノ附録ニ編
メル(語格詳解圖式)ニヨリテ之ガ奥旨ヲ詳ニス
ベシ

日本文法摘要卷二終

明治十五年一月十八日版權免許
同年五月廿五日出板

著者兼出版人

羣馬縣平民

林 甕 臣

同縣上野國南勢多郡
岩神村百八十一番地

東京京橋區瀧山町四番地

報 告 社

羣馬縣前橋本町三丁目

同 支 店

製本兼
發兌元

